

第六十四回帝國議會
衆議院

米穀統制法案外一件委員會會議錄(速記)第五回

付託議案

米穀統制法案(政府提出)
米穀需給調節特別會計法中改正法律案(政府提出)

會議

昭和八年二月二十二日(水曜日)午前十時四十四分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 東 武君

理事出井 兵吉君 理事久山 知之君

理事佐藤 重遠君 理事高橋 守平君

理事原 淳一郎君

河野 一郎君 八田 宗吉君

尾崎 天風君 田中 貞二君

福井 甚三君 松山常次郎君

島田七郎右衛門君 清家吉次郎君

白神 邦二君 三善 信房君

土井 權大君 宮崎 一君

池田 秀雄君 山田 助作君

木曾三四郎君 高田 耘平君

小池 仁郎君 由谷 義治君

同月二十一日委員多木久米次郎君辭任ニ付其ノ補闕トシテ島田七郎右衛門君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

商工大臣 男爵中島久萬吉君

農林大臣 後藤 文夫君

拓務大臣 永井柳太郎君
出席政府委員左ノ如シ

大藏書記官 賀屋 興宣君

農林政務次官 伯爵有馬 賴寧君

農林參與官 松村 謙三君

農林省米穀部長 荷見 安君

農林書記官 田淵 敬治君

商工省商務局長 川久保修吉君

商工省工務局長 竹内 可吉君

拓務參與官 木村小左衛門君

拓務省殖產局長 北島謙次郎君

朝鮮總督府財務局長 林 繁藏君

臺灣總督府總務長官 平塚 廣義君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

米穀統制法案(政府提出)

米穀需給調節特別會計法中改正法律案

(政府提出)

○東委員長 開會致シマス、拓務省ノ政府

委員ガ參テ居リマスカラ、昨日拓務省政府

委員ニ質問事項ノ殘ッテ居ルモノヲ河野君

ニ許シマス

○河野委員 朝鮮米ノ生産費竝ニ朝鮮ニ於

ケル今後五箇年デモ、十箇年デモ結構デス

ガ、米ノ需給推算ノ御調査ガアリマシタラ承リタイ

○北島政府委員 朝鮮米ノ生産費ニ付キマ

シテハ、只今吾々確信ヲ以テ皆様ニ御話申

上ゲル程ノ完全ナ調査ガマダゴザイマセ

ヌ、唯從來極メテ不完全ナ調査デアリマシ

テ、自作農、ソレカラ小作農、其外約七十

戸バカリニ就キマシテ聽取調査程度ノモノ

ガゴザイマスケレドモ、非常ニ不完全デア

リマス、大局カラ見マシテ實情ニ合ハナイ

ヤウナ結果ニナッテ居リマシテ、是ガ即チ朝

鮮米ノ生産費、ダトハッキリ申上ゲル程ノモ

ノデゴザイマセヌ、唯ホンノ御參考マデニ

御聽取ヲ願ヒマスレバ、其不完全ナ調査ノ

結果ニ依リマスルト云フト、自作農二十二

戸ニ就テ昭和六年ノ調査ニ依リマスルト、

一石當リノ生産費ガ八圓十九錢、是ハ粃

デアリマスカラ之ヲ玄米ニ碾キ直シ、ソレ

カラ包裝、其外ノ費用ヲ加算致シマスト約

十八圓内外ニナルヤウデアリマス、併シ未

ダ是ハ只今申上ゲマス通り、非常ナ不完全

ナ調査デアリマスシ、且ツ比較的優良ナ自

作農ニ就テノ調査デアリマスル爲メ、其反

當リノ收量ナドモ割合ニ良クナッテ居リマ

ス、朝鮮全體ヲ通ジテノ米ノ一反當リノ收

量ニ較ベマス、比較的多クナッテ居ル、結

局割合ニ朝鮮全體ノモノニ較ベマスルト、

非常ニ安イ生産費ニ付イテ居ルヤウナ結果

ニナッテ居リマス、ソレデ此八圓十九錢ヲ即

チ朝鮮米ノ生産費ナリト斷定スルコトハ、

無論全然確信ガゴザイマセヌ、其點豫メ御

承知置ヲ願ヒマス、ソレカラ朝鮮ニハ御承

知ノ通り三四年カ、四五年ニハ大概旱魃ニ

依ル被害モゴザイマシテ、其結果五年ナリ

十年ナリ長イ間ヲ達觀致シテ見マスルト、

又此生産費ノ一反當リ幾ラ、一石當リ幾ラ

ト云フコトハ矢張相當ニ影響シテ來ルガラ

ウト思ヒマス、其點モ豫メ御承知置ヲ願ヒ

マス、ソレデ只今申上ゲマス通りニ、從來

マデノ生産費ト云フモノハ非常ニ不完全デ

アリマスカラ、是デハ今後ノ施設計畫ノ上

ニモ非常ナ不便ヲ感ジマスノデ、來年度ノ

豫算ニ於キマシテハ、米穀生産費調査ノ爲

ニ相當ノ費用ヲ計上致シマシテ、既ニ皆様

ノ御協賛ヲ得マシテ目下貴族院ニ廻附サ

レテ居ルヤウナ關係ニナッテ居リマス、ソレ

カラ將來ノ米ノ需給推算ニ付キマシテハ、一寸後デ取調ベテ見マス

○河野委員 只今ノ御話デ頗ル不完全ナ生産費ノ調査ヨリ御持合セガナイト云フコト

ニナリマスルト、隨テ臺灣ニ於テモ同ジダラウト思フノデス、所ガ内地ノ米穀政策ヲ確立スル上ニ於テ朝鮮ト、臺灣カラ今日一千萬石近イ米ガ内地ニ向ッテ入ッテ來ルト云フ場合ニ於キマシテ、内地ノ米穀政策ヲ確立スルニハ、朝鮮ノ米、臺灣ノ米ヲドウスル

カト云フコトガ一番根本ノ問題ナノデアリマス、此朝鮮ノ米ト、臺灣ノ米ハドウ云フ風ナ生産費デ作ラレテ、ドウ云フ風ナコトデ販賣サレルト云フコトノ調ガ付イテ、是ガ内地ノ農民ニドウ云フ影響ヲ及ボスカ、米價ヲドウ云フ風ニシタラ宜イカト云フコトヲ根本的ニ考ヘテヤラスト、ソコニ非常ナ内地ノ農民ヲ壓迫スル結果ヲ生ムコトニナルダラウト思フノデアリマス、私ハ此點ニ付キマシテ、今ノ生産費ノ御話モ吾々ガ想像スルヨリ高過ギル、モット安ク調査ガ出來テ居ナケレバナラスト云フヤウナ氣持ガスルノデアリマス、此場合内地ノ生産費ト同

ジヤウナ風ニ勞銀ヲドノ位ニ見テ御出デニナルカ、公租公課ハドノ位ニ見テ御出デニナルカ、其御調ガアルト思ヒマスガ、ソレヲ御發表ヲ願ヒタイ、今直グデナクテモ、明日デモ印刷ニシテ御配付ヲ願ヒタイ、同時ニ五年後ニ於ケル需給計算モ其時ニ一緒ニ御發表ヲ願ヒタイト思ヒマス

ソレカラ大藏省ノ政府委員ニ御同致シタイト思ヒマス、此處ニ先日帝國農會ノ農業者ト、商工業者ノ租税公課負擔ノ比較ヲ戴イタノデアリマスガ、大藏省ハ昭和三年ニ此調査ヲ御遣リニナッタモノヲ御持合セニナッテ居ルサウデアリマスガ、ソレヲ一ツ御發表ヲ願ヒタイト思ヒマス

○賀屋政府委員 主税局ノ方ニアリマスカラ……

○河野委員 ソレデハ主税局長ノ方ニ御話下スッテ……

○北島政府委員 需給推算ニ付キマシテハ明日迄ニ差上ゲルコトガ出來ルト思ヒマス、唯生産費ノ中ノ勞銀ガドウダトカ、公課ノ負擔ガドウダトカ云フヤウナコトハ、只今申上ゲマシタヤウニ非常ニ不完全ナ狀況デアリマシテ、吾々モ全然確信ガナイノデアリマスカラ、サウ云フ大體ノ數字ダケデーツ我慢シテ戴キタイト思ヒマス、ドウモ餘リニ不完全デアリマスカラ、御目ニ懸ケテモ、ソレヲ基礎資料トシテ御論ジニナルヤウナ材料デモアリマセスカラ、ドウカ

其結論ダケデ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○河野委員 サウ致シマス、農林省ハ今迄ハ別デアリマスガ、今後此米穀統制法案ノ施行ニ當ッテ米ノ生産費ヲ決定スル場合ニ朝鮮、臺灣ヲ考慮ニ入レズニ御決メニナルノデアリマスガ、ドウデアリマスカ

○荷見政府委員 農林省ハ内地ノ米ノ最低價格ヲ決メマスルニ付テハ、内地ノ生産費ヲ調査スルコトハ當然デアリマスガ、朝鮮、臺灣ノ方ノ生産費ハ大體私共ノ考デハ内地ヨリハ相當低イモノト考ヘテ居リマスガ、此朝鮮米、臺灣米ノ價格ハ吾々ノ方デハ公定スル範圍ニ入レヨウトハ考ヘテ居リマセス、唯朝鮮カラ出來秋ニ一時ニ内地ニ移入サレルコトヲ緩和シテ、成タケ平均的ニ入レルヤウニシヨウ、ソレニハ需給推算ノ上ニモ關係致シマスケレドモ、大體ニ於テ日本ノ現狀デハ外國米ガ年々百萬石位ハ入りマシテ、朝鮮、臺灣カラ入ル分ガ相當入ッテ、需給ノ「バランス」ガ取レル、豐作ノ場合ニハ相當是ガ溜マル、又凶作ノ場合ニハ足りナイ、大體向フカラ來ルモノニ制限ガ出來レバ結構デアリマスガ、サウ云フコトハ出來ナイノデアリマスガ、數量ヲ平均的ニ入レルト云フ程度デ調節シテ見タイト、斯ウ

考ヘテ居リマスカラ、生産費ノ問題ヲ直接公定價格決定ニハ使ハナイノデアリマス

○河野委員 サウスルト、朝鮮米、臺灣米ハ最低價格ニナッテ買ッテ呉レト云フ要求ニハ應ズル資格ハナイノデアリマスガ

○荷見政府委員 内地ダケノ米ニ付テ最低價格ト云フモノヲ決定スル積リデ居リマス、大體朝鮮米、臺灣米ト云フモノ、取引ヨリ内地米ノ方ガ數量ガ多イノデ、ソレニ追隨シテ價格ガ決定サレルヤウナ狀況ニナッテ居リマスカラ、内地米ノ價格ガ維持サレマス、朝鮮米、臺灣米モサウ安クハ賣ラヌコトニナリマスカラ、向フノ米マデ公定價格デ買ハヌデモ宜シイト考ヘテ居リマス

○河野委員 從來内地米ト朝鮮米ト出廻期ニ於テ値段ノ開キハドノ位アッタモノデアリマスガ、產地ニ於テハ……

○荷見政府委員 產地ニ於テハ一駄ニ付キマシテ——朝鮮米ノ相場ニ運賃諸掛ガ加ハッタ位ノ差ニナッテ居ルヤウニ思ヒマス

○河野委員 其調ベハナイノデセウカ、私ハソシナコトハナイト思フ、ソレハ所謂取引機構ノ關係ト申シマスガ、經濟關係カラ朝鮮ノ方ガ出廻期ノ最盛期ニハ格安ニナッテ居ッテ、順次取引ガ改善サレルニ從ッテ、

今御話ノヤウニ運賃諸掛ヲ加ヘタ程度ノ開
キニナル、是ハ當然デアリマスガ、朝鮮米
ガ一時ニ出テ來ル時ハ朝鮮ノ市場ガ下ル、
下ツタ米ガ内地ヘ來テ内地米ヲ壓迫スル
云フヤウナ結果ニナルノデアリマシテ、是

ハ内地ノ取引關係ノ圓滑ナ所ニ較ベルト、
朝鮮臺灣ノ米ノ方ガ格安ニ賣買サレテ居
ル、所謂庭先相場ノ如キモ比較ニナラヌ程
朝鮮ノ方ガ安クナッテ居ルト云フヤウニ考
ヘテ居リマスガ、其調ベハアリマセヌカ

○荷見政府委員 御話ノ點ハ斯ウ云フヤウ
ニ記憶シテ居リマス、大體朝鮮ノ各市場ニ
於ケル取引價格ハ所謂差金取引デ、内地ノ
大阪ナリ、東京ナリノ取引ノ相場方同フニ
入ッテ、ソレト只今申上ゲマシタヤウナ内地

ニ來ル運賃關係ナドガ差引カレタモノガ、
朝鮮ノ市場ニ於ケル取引價值ニナッテ居ル
ト記憶シテ居リマス、唯市場ニ行クマデニ
農家カラ仲買人ガ買出スヤウナモノハ相當
安イ値段デ買出サレテ居ルト思ヒマス、ソ

レガ内地米價ニ非常ニ壓迫ヲ與ヘルノハ、
朝鮮米ガ非常ニ澤山供給サレルモノデスカ
ラ、隨テ總體ノ米ノ値段ヲ下ゲルコトニ於
テ、出廻期ニ於ケル内地ノ米價ニモ惡イ影
響ヲ與ヘ、朝鮮米モ損ヲシテ居ル譯ニナッテ
居ルト思ヒマスノデ、出廻期ニ一時ニ澤山

出テ來ルノヲ防グ方法ガ付ケバ其缺點ハ大
ニ除カレ得ルト考ヘテ居リマス、尙ホ御承
知ノヤウニ深川正米市場邊リニ於ケル取引
デハ、標準米ニ付テハ内地米ヨリモ朝鮮米
ノ方ガ現在デハ高クナッテ居リマス

○河野委員 ソコデ最後ニ承リタイノハ、
豐作ノ時ニ買上ゲルト豫定サレテ居ル六百
萬石、ソレカラ季節的ニ調節スル爲ニ三百萬
石買上ゲルト云フ御話デアリマスガ、此朝
鮮米ニ付テハ其豐作ノ六百萬石豫想サレテ

居ル買上ヲ、朝鮮米ニ付テモ買上ニナリマ
スカ、ナリマセヌカ、ソレカラ朝鮮米、臺灣
米ニ付テハ季節的ニ平均スル爲メノ買上以
外ノ買上ハ、爲サラヌカドウカト云フ點ヲ
伺ッテ見タイ

○荷見政府委員 六百萬石ト云フ見込ヲ付
ケテ居ルノハ内地米ノミニ付テマアリマ
ス、朝鮮米ニ付テハ季節的ノ買入ノ分シカ
買上ゲル方法ハアリマセヌ、唯併シ季節的
ノ買上ノミデハ十分ニ目的ヲ達スルコトハ

非常ニ困難デアリマスカラ、隨テ朝鮮ニ於
ケル農業倉庫ノ獎勵、ソレニ對スル低利資
金ノ融通又ハ出港ヲ一定ノ期間止メル方
策或ハ野積ノ糶ニ對スル金融、又ハ是レ
ノ投資ノ防止ト云フヤウナコト、其他ニ出
來レバ自治體邊リデモ力ヲ盡サウト云フヤ

ウナ計畫モ、朝鮮ニハ段々企テラレテアル
ヤウデアリマスガ、ソレ等ノ方法ニ依ル防
止方法ガ加ハルコト、思ヒマス、尙ホ一言
申添ヘテ置キマスノハ、朝鮮ニ於テ非常ニ
豐作デアリマシタ場合ニハ、隨テ内地ヘ移

出數量ノ見込數量ト云フモノガ増加スル譯
ニナリマスノデ、増加致シマスト季節出廻
ノ過剩部分ト云フモノ、數量モ、自ラ或ル
程度マデ増加サレルノデアリマスカラ、三
百萬石ガ三百五十萬石ニナリマスカ幾ラニ

ナリマスガ、總體ニ於テ相當ノ數ガ増加サ
レテ季節調節ノ分量ハ増加スルコトガアル
ト思ヒマス

○河野委員 朝鮮米ガ内地ノ農家ヲ非常ニ
壓迫スル點ニ付テ、私ハ拓務大臣ノ御答辯
ヲ願ヒタイ問題ガアルノデアリマスガ、是
ハ後日拓務大臣ノ出席ノ際ニ讓リマシテ、

更ニ事務的ノ問題ニ付テ二、三承ッテ見タイ
ト思ヒマス、今後自作農創設、其他各種ノ
耕地改良計畫ヲ農林省ガ才造リニナル場合
ニ、米ノ標準價格ハドノ邊ニ御取リニナル
積リデアリマスガ、ソレヲ承ッテ見タイト思
ヒマス

樹テル場合ニ大體其時ノ普通ノ時價ト云フ
モノヲ見定メテ、ソレニ依ッテ收支ノ計算ヲ
立テ、其計算ノ算盤ノ合フ程度ニ於テ幾
ラニ決メルト云フ風ニハ現在ハヤッテ居ラ
ヌノデアリマス

○河野委員 ソレハ少シ話ガ違ウト思ヒマ
ス、今マデ少クトモ農林省ガ此長期ニ互ル
耕地改良計畫ヲ樹テル場合ニハ、大體四、
五年前ノ話ヲシマスレバ、米價ガ三十二、

三圓シテ居ッタ時ニ二十六圓ノ米價ヲ基準
ニシテ、ソレニ基ク收支計算ヲ立テ、施設
ヲ行ッタ、米ノ三十五、六圓シテ居ル時ニハ
三十一、二圓デ立テ、居ッタト云フコトガ事

實タラウト思フノデアリマス、所ガソレガ
最近ノ民政黨内閣時代ニ、非常ニ米價ガ下ッ
タ時ニ全クソコニ行詰リヲ生ジテ、自作農
創設、其地ノ計畫ニ於テ非常ナ支障ヲ來シ

タト云フコトハ事實デアリマス、併ナガラ
是ハ米穀統制法案ノ施行サレル以前ノ話デ
アリマシテ、ソコニ政府ガ米價ニ對シテ一
ツノ指導的ノ或ルモノヲ持タナカッタ、之ヲ
公定シテ居ラナカッタト云フコトデアリマ
スカラ、サウ云フ結果ニナルコトモ私ハ已ム
ヲ得ヌト思ヒマスガ、將來斯ウ云フ風ニ政
府ガ大組織ニ米穀統制法案ヲ出シテ米價ヲ
統制シテ行カウト云フコトニナル以上ハ、

ソコニ一ツノ指導精神ヲ以テ大體農林省ノ立テル耕地改良計畫ハ、斯ウ云フ米價ヲ基準ニシテ、農林行政ノ根幹ヲ立テ、行クト云フ所ガ一ツ決マラナケレバナラス管デアリマス、ソレナシニ無統制ニ年々其場限リノ出來合セノ値段デ計畫ヲ樹テ、行ッテ、其計畫ガ而モ二年ヤ三年デ片付ク計畫ナラ宜イガ、長期ニ互ル計畫ヲ樹テルノニ、ソレデヤラレタノデハ非常ニ將來ニ禍根ヲ貽スト思フノデアリマス、此點ハ若シ事務ノ方デ或ハ御答辯ガ工合ガ惡イノデシタラ、大臣ガ見エテカラデ宜シウゴザイマ

リマスガ、其價格ガ一定出來ルカドウカト云フコトハ、餘程困難ナ問題ノヤウニ思ハレマスケレドモ、十分關係ノ係リノ方ト話合ハシテ見ヨウト思ヒマス

○河野委員 此問題ハ此程度ニシテ、大臣ガ見エテカラニ致シマス

思フノデアリマスガ、アリマセヌカ、米穀部ト農務局トノ間ニ今年ノ豫算ヲ立テルニ當ッテモ、サウ云フ打合せハアリマセヌカ

次ニ事實問題ニ付テ伺ッテ見タイ、最近ニ於ケル現行米穀法施行中ニ於テ常ニ米價ハ下廻ッテ居リマシテ、米穀法發動ノ時期ハ何時デモ米價引上維持ト言ヒマスカ、引上ト言ヒマスカ、價格ヲ維持スル爲ニ發動スルコトガ大部分デアッテ、暴騰ヲ防グ爲ニ發動シタコトハ僅ニ米騒動ノ時ノ一回ト云フ事實ヲ肯定致シマスカ、ドウデスカ

○荷見政府委員 是ハ從來モ別ニ米穀調節ノ方ト、ソレカラ土地改良擴張ノ方トノ關係ノ價格ノ打合せト云フモノハヤッテ居リマセヌ、今度モマダドウ云フ風ニスルカト云フコトハ致シテ居リマセヌ、併シ從來ノ米價調節ト違ッテ、今回ノ調節方法ハ價格ヲ年々公定シテ一定價格以下ニハ下ゲナイ、一定價格以上ニハ上ゲナイト云フ方針ヲ實行シヨウト云フ際ニハ、他ノ獎勵施設等ニ付テモ十分連絡ヲ取ル要ガアルト思ッテ居

○荷見政府委員 米穀法施行ニ於キマシテモ高値ヲ調節スル爲ニ發動シタコトガ數回ゴザイマス、只今記憶致シマス所デモ米穀法ヲ施行致シマシタ最初ノ年、大正十年ノ端境期ニハ非常ニ騰貴致シマシテ、調節ノ賣出シヲ致シテ居リマス、ソレガ爲ニ初年度ニ於テ何百萬圓カ儲ケガアリマシタ、ソレカラ大正十四五年頃ニ一回高値ノ調節ヲシタコトガアルヤウニ思ハレマス、其他ニアト一回位アツタト思ヒマスガ、今能ク記憶シテ居リマセヌ、唯最近ニ於キマシテハ最低價格ノ調節ノ方ガ非常ニ多イノデアリマ

スガ、是ハ御承知ノ通りニ、昭和年代ニ入リマシテカラ大體凶作ト云フヤウナ年柄ガゴザイマセヌノデ、餘程作柄ガ良クナッテ居リマス、殊ニ昭和五年ノ大豐作ノ時ニハ非常ニ價格ノ低落モアリマシタ、ソレカラ六年ノ際ニハ是ハ非常ニ不作デアリマシタガ、前年度ノ持越數量ガ九百十四萬石ト云フヤウナ非常ニ多イ數量デアリマシタガ爲ニ、供給ニ於テハ餘リ不足ヲ致シマセヌ、又七年度ノ米作ハ平年作位デアリマシテ、前年度ノ持越ガ可ナリ多量ニ上ッテ居ルト云フヤウナ譯デ、大體ニ於テ供給量ガ潤澤デアルト云フコトモ、最低價格ノ調節ヲスル必要ノ機會ガ最近ニ於テ多イト云フ一ツノ原因ト思ヒマス、モウ一ツソレニ加ハリマシタノハ、朝鮮米、臺灣米ノ移入ノ増加デアリマシテ、是ハ數年來非常ナ勢デ増加シテ居リマスカラ、ソレ等ノコトモ色々御心配ニナルヤウニ、最低價格ノ調節ノ機會ノ多クナルヤウナ原因ダト思ヒマス、唯本年ノ如キハ昨日モ申上ゲマシタヤウニ前議會デ改正サレマシタ米穀法ノ季節買入ノ問題等ガ相當效果ガアルノデハナイカト云フヤウニ思ハレマシテ、實際買入レマシタ數量ハソレ程多量デアリマセヌケレドモ、内地ニ移出サレル米穀ノ數量ハ、昨年ノ凶

作ノ時ニ較ベテ大シタ増加ニナッテ居ラヌト云フコトダケ申上ゲラレルト思ヒマス

○河野委員 只今大正年代ノ御話ガアリマシタガ、少クトモ最近七八箇年此方、米價ガ高クテ困ルト云フヤウナコトハ一回モナイノデアリマス、必シモ昭和五年ノ大豐作ノ後ダケデナシニ、其前ニ於テモ、田中内閣以來昭和ニ入りマシテ高過ギテ困ルカラ之ヲ調節シヨウト云フヤウナコトハ恐ラクナカッタノデアリマス、此趨勢ハ恐ラク今後ニ於テモ何時デモ米價ハ下値ヲ如何ニシテ抑ヘルカト云フコトニ付テ米穀法ハ——今回作ラレマス統制法案ニシテモ、ソレニ向ッテ發動スル機會ガ大部分デアッテ、經濟界ニ異常ナル變動ヲ來シタトカ、何トカ云フ時デナケレバ、サモナケレバ天災的ノ非常ナ大飢饉ガアッタトカ云フヤウナ特殊ノ場合以外ニハ、恐ラク年々歳々普通ノ條件ニ置カレマシテハ下値ヲ如何ニシテ抑ヘルカト云フコトニアリマシテ、一般ノ常識ヲ以テ考ヘレバ米價ハ最低價格ノ近クニ何時デモ置カレルト云フコトニナリマシテ、農民ハ何時デモ生産費カツノ所デ、政府ノ力ニ依ッテ生産費ヲ維持シテ貰フト云フコトニナルヤウナ結果ニナルダラウト私ハ思フノデアリマス、之ニ對シテ何カ將來政府ハサ

作ノ時ニ較ベテ大シタ増加ニナッテ居ラヌト云フコトダケ申上ゲラレルト思ヒマス

ウデナクナル——サウデナシニ家計米價ニ
近イ値段ノ方ニ上廻ッテ行クヤウナ原因ガ
將來ニ見ラレマスカドウデスカ、ソレガア
リマスカドウデスカ、ソレガアリマシタラ
一ツ御答辯ヲ願ヒマス

○荷見政府委員 私ノ申上ゲマシタノハ昭
和ニ入りマシテカラハ非常ニ米ノ供給ガ多
イ年ガ多イカラ、最低價格ノ調節ヲスルヤ
ウナコトハナイト申上ゲタノデアリマスカ
ラ、只今ノ河野サンノ御話ノ通りト考ヘマ
ス、唯現在デハ御承知ノ通りニ内地朝鮮臺
灣ヲ通ジテ米ノ供給ガ相當豐富デアリマス

爲ニ、米ノ輸入關稅ノ引上ノ如キモ數年來
繼續致シテ、只今モ本年ノ十二月マデハ引
上ヲ致シテ居ルヤウナ狀況デアリマシテ、
數量ノ問題カラ致シマス、御話ノヤウニ
ドウモ供給ガ多過ギルヤウニ思フノデアリ
マス、ソレデソレ等ノ事情モ考慮ニ入レラ
レタコト、思ヒマスガ、米穀統制調査會ニ
於キマシテハ、生産ノ統制ト云フモノヲ適
當ニ計畫實行シナケレバイカヌ、是ガ爲ニ
ハ關係當局其他各方面ノ委員會等ヲ設置シ
テ、相當ノ計畫ヲ樹テルヤウニト云フコト
ニナッテ居リマスカラ、其趣旨モ私ノ考ヘル
所デハ無統制ナ増殖計畫ト云フヤウナモノ
ハ止メテ、兎ニ角内地、朝鮮、臺灣ノ米穀

ガ、是ガ不必要ナモノデアルト云フ程度ニ
ハ至ッテ居ラヌカモ知レマセヌケレドモ、
此數年ノ狀況カラ推シマス、只今御話ノ
アリマシタ通りニ、ドウモ供給ガ多イヤウ
ナ趨勢ニナッテ居ルノデアリマスカラ、ソ
レ等ノ點ヲ考慮シテ、土地改良計畫ト云フ
ヤウナモノモ相當ナ計畫ヲ樹テナケレバナ
ラヌ、斯ウ云フ趣旨ノヤウニ思ッテ居リマ
ス、サウシテ其趣旨ニ依ル調査計畫ハ、速
ニ實行スルヤウニト云フ趣旨ニナッテ居リ
マスカラ、其邊ヲ御承知置願ヒタイト思ヒ
マス

○河野委員 ソコデ大體私ガ考ヘテ居リマ
スヤウニ、政府ノ方ニ於テモ米價ハ最低價
格ノ附近ニ何時デモ置カレルモノデアアル、
之ヲ相當徹底シタ生産統制ヲヤルコト以外
ニ方法ハナイト云フコトデアリマスガ、此
生産統制ガ出來レバ勿論結構デアリマスガ、
一般ノ期待ト致シマシテハ、朝鮮臺灣米ノ
統制サヘ出來ヌ、拓務省ヤ朝鮮總督府、臺灣
總督府ノ反對ニ遭ッテ、單ナル茲ニ米穀統制
ヲヤル時ニ當ッテ、數量價格ノ統制ヲスルニ
當ッテ、ソレサヘ出來ヌ政府ガ、生産統制ガ
朝鮮臺灣ニ向ッテ内地ト同様ノ立場ニ於テ
出來ルト云フコトハ、吾々豫想出來ヌノデ
アリマス、若シ將來此事ガ出來ルナラバ、

當然内地米ト同様ノ立場ニ於テ朝鮮米、臺
灣米ノ統制ガ出來ナケレバナラヌ、斯ウ云
フ一ツノ根本法ヲ確立スルニ當ッテ、何故ニ
朝鮮ト臺灣ヲ別個ニ扱ッテ、内地ダケノ米ヲ
統制スルカ、而モ現在ノ情勢ニ於テハ、内
地ニ於ケル販賣米ノ數量ガ三千萬石ト云フ
時ニ、朝鮮臺灣カラ來ル米ガ一千万石アル、
此一千万石ノ米ノ統制ガ積極的ニ出來ズシ
テ、消極的ニ季節的ノ平均ヲ付ケルト云フ
程度ノ生産溫イ所デ妥協ヲシテ、拓務省ト農
林省ノ間ニ意見ノ一致ヲ見ルコトガ出來
ヌ、左様ナコトデハ將來ノ生産統制ガ出來
ルトハ、吾々ニハ考ヘラレヌ、而モ此内閣ニ
於テ、折角内閣ノ下ニ作ラレタ米穀政策ノ
調査會ニ於テスラ——是ガ農林省ノ中ニ於
テ作ラレタ米穀政策ノ調査會ナラ宜イ、内
閣ノ下ニ於テ朝鮮總督府、臺灣總督府、拓務
省邊リカラ委員ガ出來タ此調査會ニ於テ
スラ、非常ニ反對サレテソレヲ纏メルコト
ガ出來ナカッタト云フヤウナコトデハ、將來
ニ向ッテ之ヲ考ヘルコトハ、吾々ハ出來ヌノ
デアリマス、ソコデ吾々ノ要求スル所ハ若
モ米價ガ何時デモ生産費ノ近クニアルモノ
トスルナラバ、ソコデ生産費ニ或物ヲ加ヘ
タル、此間モ利潤ト云フ言葉ヲ使ヒマシタ
ラ利潤トハ云々ト云フコトデアリマシタ

ガ、常ニ農民ト致シマシテハ生産費「プラ
ス」エックス」、生産費ニ或物ヲ加ヘタ、或
ル相當ノ利潤ヲ加ヘタモノデ米價ヲ決メテ
貰ハナケレバ、何時デモ農家ハ何等ノ儲ケ
ナシデ仕事ヲシナケレバナラヌト云フ結果
ニナルト思ヒマスガ、ソコニ政府ガ一定ノ
指導精神ヲ以テ生産ヲ統制ヲスルカラ、米
價ハ何時デモ斯ウ云フ所ニ置カレルモノデ
ナイト言フナラバ、吾々ハ強イテ最低限度
ヲ嚴重ニ要求スルモノデハナイトデアリマ
ス、併ナガラ一面翻ッテ考ヘルト、米價ハ何
時デモ生産費近クニ置カレルモノデアルト
云フコトニナリマスレバ、吾々ハ生産費「プ
ラス」エックス」ト云フモノヲ要求シナケレ
バ、農民ノ立ッ瀕ガナイト云フ結果ニナル
ト思ヒマスガ、御所見ハ如何デアリマスカ
○荷見政府委員 私ガ只今申上ゲマシタノ
ハ、昭和ニ至ッテカラ供給量ガドウデア
カト云フコトハ、ソレカラソレ等ノ供給量
ガ相當多イ關係カラ、現在トシテハ關稅ノ
引上ヲ行ッテ居ルヤウナ狀況デアルト云フ
コトヲ申上ゲタノデアリマスガ、是ハ決シ
テ米價ガ生産費ノ近クニ常ニ低迷シテ居
ト云フ意味合ノコトヲ申上ゲヨウト思ッ
タノデハナイトデアリマシテ、斯ウ云フ風ナ
供給量ヲ減少致ストカ、或ハ出廻リヲ平均ナ

ラシムルトカ云フコトハ、米價ヲ低ク置クト云フ意味合デアリマセヌノデ、相當經濟界ノ現象ニ順應シテ、最低價格ト云フモノハ假令定マリマシテモ、ソレ以上ニ一定限度ヲ以テ高値ノ方ニモ行キ得ルモノデアリシ、又サウ云フコトハイケナイナドト云フコトハ吾々トシテ考ヘ得ラレナイ問題デアルノデ、ソレ等ノ點ヲ實ハ申上ゲル積リデアッタノデアリマス、決シテ米價ガ最低價格ノ附近ニ今後モ常ニ低徊シテ居ルト云フヤウナコトヲ申上ゲル積リデハナカッタノデアリマスカラ、言葉ガ不十分デアリマシタラ、其ノ様ニ御諒承ヲ願ヒタイと思ヒマス

○河野委員 今色々御辯明デアリマスガ、併シ過去ノ經驗カラ見デモ、茲七八年來米價ガ上廻ッテ之ヲ調節シナケレバナラスト云フ事實ハナイノデアリマス、而モ其趨勢カラ推シテ見マス、ドウシテモ米價ハ生産費近クニ何時デモ置カレルモノデアルト云フコトハ、常識的ニ考ヘテ決マッテ居ル、而モ農林當局カラ具體的ニ斯ウ云フ譯デ數字ガ減ル時モアラウ、斯ウ云フ譯デ斯ウナル時モアルドラウト云フコトガアルナラバ諒承致シマスガ、併シ考ハ米穀部長モ吾々ト同ジデアラウト思ヒマス、此過去七八年

間斯ウ云フヤウナ趨勢ヲ辿ッテ來タガ、今後ニ於テハ斯ウデハナイ、過去七八年ノ間ノ趨勢ハ斯ウ云フ特殊ノ事情ガアッタカラ、斯ウデアッタガ、此特殊ノ事情モ除ケラレタカラ、今後ハ斯ウナルデアラウト云フコトヲ立證サレル具體的ノ事實ガアルナラバ別デアリマス、併シ恐ラクハナイデセウ、而モ朝鮮ニ於ケル生産ノ如キハ、私ハ去年ノ秋ニ朝鮮ヲ廻ッテ見タ、行ッテ見ルト一反歩ノ收穫量ハ幾ラデアリマスカ、一反歩ノ收穫量ハ平均九斗何升デス、而モ去年ハ米作ガ平年作ヨリ何ボカ増加ヲ見テ居ルト言ハレタノデアアル、汽車デ朝鮮ノ南カラ北ノ方ヲ廻ッテ見テ、何處ヲ通ッテ見デモ、朝鮮ノ田ヲ見ルト、田ノ地面ガ見エテ居ナイ所ハ一反モナイ、内地ニ於テコンナ下ラヌ田ト云フノガ、朝鮮ニ於テハ相當ナ田デアアル、アレニ一寸耕作ノ方法ヤ肥料ノ改良ヲ加ヘレバ、是ハ今カラ五割ヤ七割ノ増産ヲ見ルコトハ直キデアリマス、耕地ノ改良ヲセズシテ、恐ラク年々歳々五十萬ヤ、八十萬ヤ、百萬ノ増産ヲ見ルコトハ當然デアアル、農業ガ進歩スレバ當然デアアル、増産ヲ見ントシテ居ル朝鮮ノ米作ノ趨勢ヲ見タ時ニ、何處ニ需給調節ヲ改善シテ行ク具體的ノ施設ガアルカ、恐ラク政府ニ於テハナイデセウ、

マルデ内地ノ農民ヲ踏付ニシテ、朝鮮農民ヲ大事ニスル拓務省ノ態度ハ不思議デナラナイ、ダカラ私ハ言ッテ居ルノデス、之ニ對シテ何等カ具體的ニ御示シナル事實ガアルカドウカ、アルナラバ伺ッテ見タイ

○荷見政府委員 米價ノ前途觀ニ付キマシテハ私共ハ從來ノ經驗カラ推シマシテモ高イ所ニアラグラウトカ、安イ所ニアラグラウト云フコトハ、ドウモ適確ナ材料ヲ以テ御示スルト云フコトハ非常ニ困難デアルコトハ御諒承下サルドラウト思ヒマス、唯將來朝鮮米ヲ統制シテ行クト云フコトニ付テハ、十分ニ出來ルダケノ仕事ヲシタイト云フコトハ、是ハ拓務省ノ方デモ、朝鮮總督府ノ方デモ調査シテ居ラレルコト、考ヘテ居リマスノデ、其方ノ效果ハ相當舉ルト思ヒマス、尙ホ今度ノ朝鮮米統制ノ問題ニ付テハ、或ハ外國米トカ、其他ノ米ノ代用ヲスルトカ云フヤウナ物が多分ニ入りマシテ、ソレガ爲ニ朝鮮米ヲ内地ニ餘計ニ押出ス、サウ云フ傾向ハ是ハアッタノデアリマスガ、サウ云フ原因ヲ防止スルコトニ付テハ、相當統制法ノ中ニモ規定ガ設ケテアル譯デアリマス、其他ノ施設ガアリマシテ、又經濟界ノ變動ト云フヤウナモノ、色々ナ原因ニ依テ、色々ナルデアリマスカラ、

必シモ米價ガ御心配ノヤウニ低クバカリナッテ居ルト云フコトデモナカラウカト思ヒマス、勿論ハ見込ノ問題デアリマスカラ、唯私ノ今ノ感ジダケ申上ゲテ置クノデアリマス

○東委員長 一寸河野君ニ注意シマス、朝鮮ノ需給問題ト米價統制問題ニ付テ、朝鮮臺灣ノ米ノ問題ハ相當重要ナ問題デアルカラ、適當ナ時機ニ拓務大臣ナリ、或ハ臺灣總督府ノ政府委員ナリノ出席ヲ求メテ、尙ホ此話ヲモウ少シ質問シテ戴イタラ宜カラウト思フ、米穀部長ニ質問シテモサウ效果ハナイドラウカラ……

○河野委員 モウ質問シテハイケマセヌカ

○東委員長 モウ大抵ニシテ下サイ

○北島政府委員 朝鮮米ノ統制問題ニ付テ色々御意見ガアリマシタガ、此問題ニ付キマシテハ、御承知ノ通り、米穀統制調查會ノ決議ト致シマシテモ、其附帶的決議ノ中ニ朝鮮及臺灣ニ於テ自治的統制ノ方策ヲ樹立シテ、中央政府ト十分相談ヲシロト云フ決議ニナッテ居リマス、其決議ニ基キマシテ朝鮮ニ於キマシテハ十分研究ノ上、或程度ノ成案ガ出來マシタノデ、ソレヲ目下關係ノ各省デ協議中デアリマス、何レ近ク御手

許ニ於テ御協賛ヲ仰グヤウナ手配ニナリハ
シナイカト考ヘラレマス、其案ガ提出ニナ
リマシタ際ニ尙ホ能ク御審議ヲ御願シタネ
ト思ヒマス

○白神委員 之ニ補足シテ一寸私カラ――

只今委員長ノ御話ノ如ク臺灣米朝鮮米ハ重
大ナル問題デ、此統制案トハ聯絡ガアリマ
ス、私モ此問題ニ付テハ篤ト政府當局ニ向ッ
テ責任ノアル御答ヲ得ント欲スルモノデア
リマス、故ニ委員長ノ只今ノ御話ノ如ク之
ヲ暫ク時機ヲ延バシテ、河野君モ御諒承ノ
上デ共ニ質問サシテ戴クコトニ御願シタイ

○東委員長 左様取計ヒマス

○八田委員 只今ノニ關聯シテ一寸伺ッデ

置キタイ、實際朝鮮臺灣カラ移入スル米ノ
數量ハ非常ニ殖エテ來テ居リマスノデ、之
ニ依ッテ内地ノ米價ハドウツ下ガッテ居ル、
是ハ非常ニ重大ナル關係アル問題デア、帝
國農會等ニ於テハ此點ニ御力ヲ注イデ統制
ヲヤッテ貰フヨリ外ナイトシテ、朝鮮米臺灣
米ノ移入ハ政府ノ獨占ト爲シ、生産地ニ於
テ時價ヲ以テ買入レ、内地ニ於ケル從來ノ
農村ノ經濟事情ヲ考慮シ、時價ヲ以テ之ヲ
賣却スル、斯ウ云フ要望ヲ致シテ居ルノデ
アリマス、朝鮮ト臺灣ノ米ヲ時價ヲ以テ皆
買ッテシマフ、移入スル數量ハ約一千萬石デ

アルガ、之ヲ買ッテ置イテ、内地ノ米價ノ適
當ニ騰ガッタ時ニソレヲ賣放サヤウニヤッテ

貰ヒタイ、斯ウ云フコトヲ要望シテ居リ
マスガ、斯ウスルノニハ金額ハドレ位要リ
マスカ、需給調節ノ金モ是ダケ殖エテ居リ
マスカラ、斯ウ云フコトハ容易デアルト思

ヒマスガ、其金額ノコトニ付キマシテ、此
案ヲ行フニ付キマシテドウ云フ風ニ取扱
フカ、ドレ位ノ金額デアルカ、今デナクテ
宜シイ、後デ宜シイカラ御示シヲ願ヒタ
イ

○荷見政府委員 承知致シマシタ

○東委員長 次ハ由谷君

○由谷委員 私ノ質問ノ大體ハ、主トシテ

米穀政策ヲ中心トスル農民經濟ニ互ルモノ
デアリマスカラ、農林大臣ニ向ッテ質問ヲ致
シタイ考デスガ、只今大臣ハ來ナイサウデ
スカラ、私ノ質問ノ中デ事務ニ關スルモノ
ダケヲ取敢ヘズ質問申上ゲテ、後デ農林大
臣ノ來マシタ際ニ改メテ質問致シタイコト
ヲ御諒承願ヒタイト思ヒマス

先達河野君デシタカ、政府ガ本法ニ依ッテ
行フベキ勅令ノ内容ヲ提示スルヤウニト註
文ガアリマシタガ、マダ出デ居リマセス、
此重大法案ノ審議ニ付テ一番大切ナ眼目ハ
勅令ニ委ネラレテ居ル、其勅令ガ分ラヌト

云フコトハ審議ヲ進メル便カラ申シマシテ
モ、非常ニ不都合ト考ヘルノデアリマス、
隨テ政府ガ勅令案ノ内容ヲ御出シニナラヌ
以上ハ、私ノ質問ガ随分ウルサクナルカモ
知レマセスガ、豫メ御諒承ヲ願ヒマス

米穀統制法第二條ノ解釋ニ關スル問題デ
アリマスガ、政府ガ最低價格、最高價格ヲ
勅令デ決メル、其基準トスル所ハ米穀生産
費ト、家計費及物價其ノ他ノ經濟事情トア
リマス、一昨日ノ委員會デモ高橋君、其他
カラ此條文ニ付テ生産費ヨリモ最低價格ガ
安クナル危險ハナイカト云ッタ風ナ重大ナ

ル質問ガ繰返サレタノヲ記憶スルノデアリ
マスガ、政府ノ考ヘタル勅令ノ内容ト云フ
モノハ最高價格ヲ決定スルニ於テハ、家計
費ト物價、其ノ他ノ經濟事情、是ガ基礎ニ
ナルト考ヘマスシ、最低價格ノ場合ニ於テ

ハ、米穀生産費ト、物價其ノ他ノ經濟事情
ガ基礎ニナルモノデアラウト考ヘテ居リマ
スガ、サウデアリマスカ、ソレカラ出發シ
タイト思ヒマス

○荷見政府委員 御話ノヤウニ第二條第一

項ノ勅令デ定メヤウト致シテ居リマスル、
最低價格ハ、生産費、物價其ノ他ノ經濟事
情、最高價格ハ家計費、物價其ノ他ノ經濟事
情ヲ參酌シテ之ヲ定メル、斯ウ云フコトニ

ナッテ居リマス

○由谷委員 ソコデ問題ハ、最低價格ノ場

合ニ付テ申シマスナラバ、米穀生産費ガ、例
ヘバ二十一圓トナリマス、ソレニ物價其ノ
他ノ經濟事情ト云フモノガドウ云フ所マデ
干涉權ヲ有ツカノ問題デアリマス、モット具
體的ニ申シマスレバ、最低價格ヲ百ト致シ
マシタ場合ニ、生産費ガ七十ヲ占メテ物價
ガ二十ヲ占メ、其他ノ經濟事情ガ十ヲ占ム
ルモノデアルカ、或ハ生産費ガ五十ヲ占メ
テ、アトノ五十ヲ物價ト、其ノ他ノ經濟事
情デ占メテ居ルノデアリマスカ、政府ノ所
謂參酌ト云フ内容ニ付テ、ソコニハッキリシ
タ數字のナ分界ヲ附ケテ、勅令ヲ御作りニ
ナル意思デアリマスカ、ドウカ承ッテ置キタ
イト思ヒマス

○荷見政府委員 參酌ノ方法ニ付キマシテ

ハ、色々研究中デゴザイマスガ、三十トカ、
七十トカ云フヤウナ數字ノ割合ヲ以テ定メ
ルコトハ困難デアラウト思ヒマス、詰リ米
穀生産費ト云フノハ、是ハ生産者カラ既ニ
調べ上ゲラレマシタ數字デアリマス、ソレ
カラ物價其ノ他ノ經濟事情ハ、是ハ異動シ
テ居リマスル經濟事情デアリマスノデ、斯
ウ云フモノヲ相補足致シマシテ、此前ニモ
申上ゲマシタヤウニ、生産費ト云フモノハ、

モウ過去ノ貨幣價值ニ依ッテ表示セラレテ居ル數字デアリマス、其後貨幣價值ノ高低ノ限度ニ依リマシテ、之ヲ公定スルト云フコトハ、實質上ニ於テハ、何等ソレヲ變改スルト云フヤウナ意味合ノモノデハナイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○由谷委員 私政府委員ノ御話ガハッキリ掴メナイノデアリマスガ、サウ致シマス、結局生産費ト物價、其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌スルト云フコトハ、漠然タル感情ト申シマスカ、氣持ト申シマスカ、唯ソコニ常識

的ナ最低價格ノ決定方法ヲ採ルト言ッテ以上ニハ、考ヘラレナイノデアリマスガ、サウ云フ極メテ危險性ヲ持ツ基礎ニ勅令案ノ内容ガ立ツトスレバ、私共本法ノ將來ニ對シテ、非常ニ多クノ疑ヲ有ツノデアリマス、苟モ從來ノ現行米穀法ノ基礎デアル所ノ率勢米價ヲ削除シテ、ソレニ新タナ物價、其ノ他ノ經濟事情ト言ッテヤウナ、特ニ今日ノ經濟狀勢ニ對シテ非常ニ關心ヲ持ッテヤウナ立法精神ヲ有ツ限リニ於テハ、ソコニモウ少シ、ハッキリシタ相場ノ立テ方ノ基準ヲ御置キニナラスト云フコトハ、非常ニ此法律ノ將來ニ對シテ、多クノ心配ヲ吾々ハ有ツノデアリマス、只今ノ御答辯デハ甚ダ要領ヲ得ヌノデアリマスガ、成程米穀部長ノ

御話ノヤウニ、生産費ハ過去ノ問題デアル、然ルニ物價其ノ他ノ經濟事情ハ刻々變動シテ來ル、隨テ過去ノ確定シタル數字ト、刻々變動シテ來ル、未確定ノ數字トヲ旨ク「コソバイン」シテ、ソコニ最低價格ヲ設ケルト云フ立前ニ付テモウ少シハッキリシタ法文的ナ立前ガナイト、吾々ハドウナルカ、實ハ心配ニ堪ヘナイノデアリマス、是以上モット私共ニ分ルヤウナ御答辯ガアルナラバ、詳シク御示シテ願ヒタイト思フノデアリマス

○荷見政府委員 大體此法案ヲ立テマスノニ、大方針ヲ法律ニ依ッテ決定致シマシテ、其大方針ニ副フタヤウナ施行ノ規定ヲ設ケテ行キタイト云フ考ヲ有ッテ居ルノデアリマシテ、其目安ノ置キ所ハ只今申上ゲタヤウナ意味合デ考ヘテ居ルノデアリマス、尤モ此參酌ト云フコトニ付テハ、何レ米穀委員會デアリマスガ、統制委員會デアリマスカ、何レ米穀統制法施行ニ關スル重要事項ト云フコトニ付テ、委員會ヲ設ケルコトニナル筋合ト考ヘテ居リマスガ、兎ニ角サウ云フ風ナ參酌ノ方法ニ依ッテ參リタイ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、後ハ果シテソレヲドウ云フ風ニスルカト云フコトハ、只今マデノ所デハ一寸申上ゲ兼ネルノデアリマ

スガ、ソレハマダ十分成案ニナルマデニ行ッテ居リマセヌ

○由谷委員 只今ノ御答ニ依ッテ私ハ斯ウ解釋シテ置キマス、取敢ヘズ農村ノ情勢ニ迫ラレテ米穀統制法ハ出シタ、サウシテ看板ダケハ之ヲ示シタ、併シ内容ニ付テハ、未ダ多クノモノヲ有ッテ居ラス、極メテ不安心ナ立場ニ於テ米穀統制法ガ立案サレタモノト解釋シテ置キマス

次ニ第二條ノ第二項デアリマスガ、一旦決定サレタ公定米價ガ物價ノ變動著シキ場合、又ハ米穀ノ需給狀況云々ニ依ッテ、之ヲ改定スルコトガ出來ルト云フコトデアリマスガ、政府ノ考ヘル物價ノ變動著シキ場合、或ハ米穀ノ需給狀況ニ著シキ變動ヲ生ジタ場合、之ヲ具體的ニ御示願ヒタイノデアリマス

○荷見政府委員 是ハ物價ノ變動ガ著シキ場合ト申シマスノハ、從來モ考ヘテ居ッタコトデアリマスガ、例ヘバ昨年ノ三月デアリマスガ、金ノ輸出ヲ禁止致シマシテ、其結果物價ガ大層騰貴シタコトガアリマス、アノ際ニハ丁度十二月末カラ一寸ノ間ニ米價ガ非常ニ騰ッタノデアリマス、其時ニハ最低價格ヲ改定シテ居リマス、ア、云フ風ニ經濟事情ノ著シイ變動デ、米價ガ騰貴致シマ

シタヤウナ場合、ソレカラ米價バカリデアリマセヌ、一般ノ物價ガ騰貴致シマシタヤウナ場合ニハ、米價ノミ安ク置クト云フコトハ不適當デアリマスカラ、最低價格モ引上ゲナケレバイカヌト思ヒマス、其實例ハ昨年ノ三月デアリマス、ソレカラ後段ノ米穀ノ需給狀況ニ著シイ變動ヲ生ズルト申シマスルノハ、是ハ御承知ノ通りニ日本ノ米價ト云フモノハ、作況ニ依ッテ餘程支配サレマス、殊ニ端境期以後ニ於キマシテ、次年度ノ供給量ガ非常ニ減少スルトカ、非常ニ増加スルトカ言ヒマス時ニハ、ソレニ應ジテ最低價格ト云フモノモ相當上リ、又ハソレカラ下ル場合モアルノデアリマシテ、斯ウ云フ狀勢ニ應ジマシテ、必要ガアル場合ニハ、公定價格ヲ改定シテ行ク方ガ米價ノ變動ハ少クナル譯デアリマスシ、適當デアルト考ヘテ居ル次第デアリマス

○由谷委員 私只今ノ答辯ハ、多分サウダラウト豫想シテ居ッタ程度ヲ越エナイコトヲ遺憾トスルノデアリマスガ、一體第二項ノ問題ニ觸レテ來マスト、先刻質問シマシタ第一項ノ問題ニ付テモ、再ビ言葉ヲ費サヌナラヌコトガ起ッテ、來ルノデアリマス、先刻第一項ノ最高、最低價格ノ決定ニ付テハ、生産費、家計費、更ニ物價其ノ他ノ經

濟事情ガ入ルト云フコトニ付テ、米穀部長ハ斯ウ答ヘタノデアリマス、生産費ハ過去ノ確定事實デアル、物價、其ノ他ノ經濟事情ハ未確定ノ事實デカラ、其配當ニ付テ相當ノ困難ガアルヤウナ御意見デアリマシタガ、實ハ米ノ相場ヲ決メルノハ今年十一月ニ決メルト致シマスレバ、十一月迄ノ生産費、家計費、或ハ十一月迄ノ物價其ノ他ノ經濟事情ガ基礎ニナルモノト私ハ解釋シテ居ッタノデアリマス、サウ解釋シナイト、第二項ノ一旦決メラレタ米價ガ物價ノ變動甚シキ場合、或ハ米穀ノ需給狀況ニ著シキ變動ヲ起シタ場合トカ云フノト非常ナ矛盾ヲ生ジテ來ルト思フノデアリマス、少クトモ十一月ニ公定サレル米價ノ基礎ハ、ソレ迄ノ物價ナリ生産費ナリノ入ッタモノデアリマス、第二項ニ規定サレル所ノモノハ、其一旦決ッタモノガ其後ノ經濟事情ナリ、米穀ノ需給關係ニ付テ變動スルト云フコトデアル限りハ、先刻ノ御答辯ニ對シテ、私甚ダ不滿ヲ發表シナケレバナラスト考ヘルノデアリマスガ、是ハ其儘ニシテ置キマス、唯只今ノ第二項デアリマスガ、米穀部長ノ御答ヲ聽キマシテモ、一旦決ッタモノヲ、其後ノ經濟狀況ニ依ッテ變ヘル、其後ノ米穀ノ需給關係ニ依ッテ變ヘル、サウ云ッタ具體的ノ

場合ヲ基礎ニ置イテ、此時變更セラレタ米價ガ果シテ農民ニ對シテ、其經濟上ニドウ云フ影響ヲ持ツカ、善イ影響デアルカ、惡イ影響デアルカ、私相當眞剣ニ考ヘテ見タイノデアリマス、一旦決ッタ米價ガ、例ヘバ本年ノ十一月ニ決メラレタ公定米價ガ、來年ノ三月、四月ニナッテ來ルト、物價ガ非常ニ暴落シタ場合、即チ物價ガ安クナッタ場合ニ、今年決メタ米價デハ消費者ガ困ル、隨テ今年ノ十一月ニ決メラルベキ最高價格ガ假ニ三十圓ト致シマス、是デハ消費者ガ困ルト云フノデ、ソレヲ二十五圓ニ下ゲルト致シマス、此場合ヲ私ハ第二項ガ豫想シテ居ルト考ヘルノデアリマスガ、其場合ニ於テハ、得ヲスル者ハ消費者デアッテ、農民ハ斷ジテ得ヲ致シマセヌ、現ニ昨年既ニ使ッテシマッタル生産費ハ幾ラデアラウトモ、公定價格ガ安クナッタ場合ニ於テハ、得ヲスル者ハ消費者デアッテ、損ヲスル者ハ農民デアル、斯ウ云フコトガ一ツ想定サレマス、更ニ夏、或ハ秋ニナッテ非常ナ天災地變ガ起キテ來ル、大キナ凶作ガ豫想サル、場合ニ、米ノ相場ヲ一ツ引上ゲヨウト云フコトモ想像シ得ルト思フノデアリマスガ、併シ米穀年度ノ下半期ニナッテ米ノ相場ガ高クナッテモ、儲カル者ハ所謂大地主ノ階級ニ過ギナイ、

寧ロ多數ノ小農ハ其頃カラボツ／＼米ヲ買ッテ食ベナケレバナラスト階級デアリマス、斯ウ云フ場合ヲ想像スル時ニ、米穀ノ需給關係ニ依ッテ相場ガ上ゲラレマシテモ、所謂小農ニ於テハ迷惑ハ蒙ッテモ、利益ハ蒙ラナイ、斯ウ云フコトモ想像シ得ルノデアリマス、私共第二項ノ規定ハ從來ノ米穀法規ニナイ所ノ新シキ立法精神デアルト云フ其建前ニ對シマシテハ、相當敬意ヲ表スルノデアリマスガ、第二項ノ豫想スル所ハ斷ジテ農民ニ利益ニハナラスト云フ考方ニ歸著スル時ニハ、米穀統制法ハ果シテ農民ヲ救ケルモノデアアルカドウカ、非常ナ疑問ヲ有ツノデアリマス、結局第二項ハ農民ニモ宜クシヨウ、消費者ニモ宜クシヨウト云フ利害ノ相反シタル二ツノ者ノ中間ヲ取ッテ、兩方ニ都合ノ好イヤウニ出來テ居ル、サウシテ其事柄ハ簡單ナ法律ヤ、少々ノ金デ何トカ胡麻化スヤウナ態度デヤッテ居ルヤウナ傾向ガアルノデアリマス、第二項ノ規定ニ對シマシテ只今マデ申シマシタ私ノ心配ガ、本當ニ杞憂ニ終ルナラバ極メテ國家ノ爲ニ仕合ト考ヘルノデアリマスガ、今少シク明瞭ニ米穀部長ハ色々ノ場合ヲ御考ニナッテ居ルト思フノデアリマスガ、今少シク詳細ニ御答ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

○荷見政府委員 只今御話申シマシタノハ、生産者ニ損ヲ與ヘルトカ、得ヲ與ヘルトカ云フ問題デハゴザイマセヌノデ、御話ノヤウニ生産費ハ十一月マデニ生産者ガ費シタ金額デアリマス、其後ニ物價ガ非常ニ騰貴致シタト申スコトハ、貨幣ノ購買力ガ非常ニ減ッタノデアリマス、サウシマス前年ニ米穀生産費トシテ現ハサレテ居リマス價格デハ、實質上ノ生産費ハ償ヒ得ザルコトニナルノデアリマス、其場合ニハ物價ノ變動ニ應ジテ最低價格ヲ引上ゲルト云フヤウナコトニナリマス、初メテ實質上ノ生産費ガ償ヘルト思フノデアリマス、公定價格ノ最低價格ガ上リマシタコトガ不當ニ農民ニ利益ヲ與ヘルコトデハナイト考ヘテ居リマス、是ト反對ニ物價ガ非常ニ下落致シマシタ場合ニハ、貨幣ノ購買力ガ非常ニ増加致シマスカラ、隨テ過去ノ生産費トシテ現ハレマシタ價格ヲ、又反對ニ變更致シマシテモ、決シテ農民ニ不當ノ損害ヲ蒙ラスモノデハナイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマシテ、其方ガ却テ御話ノヤウニ國民全體ニ對シテ公平ナ處置デハナカラウカ、斯様ニ考ヘテ居ル譯デアリマス

○由谷委員 此問題ハ尙ホ後デ農林大臣ニ質問シタイト思ヒマス

ソレカラ同ジク第二條第二項ノ規定デアリマスガ、之ニ示シテアルヤウナ方法ニ依ッテ、米價ノ公定サレタモノヲ更ニ再ビ變ヘル、改定ノ場合方屢アルモノト政府ハ御考ニナツテ居リマスガ、唯非常ナ場合ヲ想像シテ此立法ヲ御決メニナツタノデアルカ、其御考ヲ御答願ヒマス

○荷見政府委員 ソレハ屢アルト云フコトヲ豫想致シテ居リマセヌ、例ヘバ吾々ガ現在豫想致シテ居リマスノハ、金ノ輸出ノ禁止デアルトカ、解除デアルトカ、關東ノ大震災災ノヤウナモノデアルトカ、斯様ナ非常異例ナ場合ヲ豫想致シテ居ル次第デアリマス

○由谷委員 生産費ノ問題ニ對シ少シ事務的ノ質問ヲ致シテ置キタイト思ヒマスガ、實ハ生産費ノ問題ハ此委員會ノ劈頭カラ先刻マデ繼續シタ中心問題ニナツテ居リマス、私今マデ各委員諸君カラノ御意見ヲ拜聽シマシタ、或ハ税金公課ニ關スル問題、或ハ運賃ニ關スル問題、或ハ土地資本利子ニ關スル問題等、斯ウ云フ問題ヲ更ニ離レテ、モウ少シ深刻ナ點カラ御尋シテ見タイノデアリマスガ、實ハ先達モ民政黨ノ村松君ガ言ッテ居ッタヤウニ中庸生産費ト云フモノヲ作リマシテモ、地方的個人的ニモ非常ナ不

均衡ガアリマスガ、更ニ私ハ收穫量ヲ基礎ニシテ見テモ大變ナ矛盾撞著ガソコニ横ハルコトヲ痛感スルノデアリマス、農林省ノ調査ニ依リマス、只今千三十戸ニ就テ調べテ居リマス、所謂中庸生産費ノ收穫基準ハ一段歩ニ付キ二石四斗七升ダサウデアリマスシ、帝國農會モソレヨリ一合少イ基礎ヲ持ッテ居ルヤウデアリマスガ、若シ日本ノ全米作農地ガ是ト同ジ收穫量ヲ持ツトシマ

スナラバ、昭和六年度ニ於ケル米作段別約三百二十五萬町歩バカリニ對シテ八千萬石ニ近イ收穫ガアル筈デアリマスガ、而モ實際ハ六千萬石見當シカナイ、現ニ是ハ先日御配リニナリマシタ米穀要覽ヲ見テモ左様ニ明ニ示シテ居リマス、更ニ其中ニハ農林

省ノ調査ニ依ッテ、昭和六年度ノ一段歩當リノ收穫量ハ、一石八斗五升四合トナツテ居リマス、私共農村デ聞キマスノニ、收穫ノ少ナイ惡イ田圃程多額ノ生産費ヲ要スルヤウニ聞クノデアリマス、一概ニサウモ言ヘヌデアリマセウガ、併ナガラ大體ノ傾向ハソレヲ辿ッテ居ルト考ヘルノデアリマスガ、然ラバ生産費ヲ算定スル基礎トシテ一段歩ニ二石五斗近クモ取レル田地ヲ基礎ニシテ算定ヲ致シマシテモ、全國平均ノ一段歩收穫量ガ一石九斗弱シカナイ場合ニハ、ソコニ

農民全體ニ對スル非常ナ不均衡ガ起キテ來ルデハナイカト思フノデアリマス、ソコデ政府ハ中庸生産費ノ御調ハドウデアラウトモ、其中中庸生産費ニ依ッテ示サレタ數字ヲ直チニ其基礎ニナツタ田地ノ收穫量デ換算シナイデ、ソレヲ全國平均ノ收穫量ニ依ッテ換算シテ、ソレカラ生産費ヲ割出スト云フヤ

ウナ考ヘ方ヲ御執リニナラスカドウカデアリマス、モット具體的ニ申シマス、例ヘバ政府ノ御調ニナツタモノデハ、一石二十圓八十六錢ト云フ生産費ヲ見デアリマスガ、此二十圓八十六錢ヲ一段歩デ二石五斗近クモ取ル田圃ヲ計算ノ基礎ニシナイデ、之ヲ直チニ全國平均ノ收穫量一段歩一石九斗ニ換算シテ見ル方法デアリマス、是ハ極メテ大

膽ナ質問デアリマスガ、私共米穀生産費ノ內容的ナ檢討ハ勿論必要ト考ヘマスガ、此生産費ガ全面的ニ全國ノ農家ニ齎ス影響ヲ強ク考ヘル時ニハ、今中上ゲタヤウナ質問ヲシテ見タクナルノデアリマス、即チ私ノ計算ニ依ルト云フト、農林省ノ基礎ニナツテ居ル一石二十圓八十六錢ノ生産費ヲ一段歩一石九斗ノ收穫量ニ比例換算致シマス、云フト、一石ノ生産費ガ二十七圓十錢見當ナルノデアリマス、二十七圓十錢見當ノ生産費ヲ政府ハ考ヘテ見タコトハナイカドウ

カ、此生産費ノ問題ニ付テ今申シマシタヤウナ收穫量ヲ基礎ニシタ新シイ考方ヲ考ヘテ見タコトハ、ナイカドウカノ質問デアリマス

○荷見政府委員 只今御話ノヤウナ收穫量ニ付テ生産ニ費シタ費用ト云フヤウナモノハ、各戸ノ農家ニ就テ見、ソレカラ收穫量ハ平均收穫量ニ付テ見ルト云フヤウナコトモ一應吾々ノ間ニハ問題ニシタコトハゴザイマス、併シ何シロ生産費ト云フモノヲ以テ最低價格ノ一ツノ參酌事情ト致スト云フヤウナ場合ニハ、其生産費ト云フモノハ極メテ正確デアッテ他カラ何事モ言ハレヌヤウナモノデナケレバイカスト考ヘテ居リマスノデ、現實ノモノヲ抑ヘルノガ最モ適當デアルト考ヘテ居ルノデアリマス、尙ホ御話ノ收穫量ガ全國平均ト、各調査農家トニ於テ違ヒマスル點ハ、私再々申上ゲテ居リマスヤウニ、生産費ノ調査ヲシタ農家ハ大體中庸農家ト云フモノヲ採ッテ居ルノデアリマシテ、其中中庸農家ノ生産數量ト云フモノガ茲ニ現レテ居ルノデアリマスカラ、全國ノ上中下全部平均致シマシタモノヨリハ、幾分餘計ニナル傾向ハアリ得ルモノト考ヘルノデアリマス、又農家生産費調査ノ方法ハ非常ニ嚴格ニ精密ニ行ヒマスノデ、

一々收穫量ガ一段歩當リニ付テ分リマス
ガ、現在御覽ヲ願ッテ居ルヤウナ米穀ノ生産
高ノ調査ニ付テハ、只今ノ調査方法ハ、此
間モ御參考マデニ差上ゲテ置キマシタヤウ
ニ、各町村ニ設ケラレタ農林統計調査員ガ
實際ノ狀況ヲ巡回シタ上見積調査ヲ行ヒマ
スカ、又ハ精農者ノ意見ヲ徴シマスカ、若
クハ坪刈ヲ行ッタ上ニ、作柄ノ良否ニ應ジテ
其反當收量ヲ定メ、之ニ作付面積ヲ乘ジテ
算出スルト云フヤウナ色々ノ手段ニ依ッテ
居ルノデアリマスカラ、精密ナ程度ハ、米
穀生産費調査ノ農家ノ收穫量トハ非常ニ違
フノデアリマシテ、調査方法トシテモ全國
ガ劃一的デハアリマセスシ、又推定見積ノ
分モ多イノデアリマスカラ、ソレ等ノ點ニ
於テモ幾分ノ差異ガ出來テ居ルモノト考ヘ
ラレルノデアリマス、御話ノヤウナ點ハ前
ニ吾々ノ中ニモ考ヘタコトハアリマスガ、
之ヲ實行スルニ付テハ餘程困難ガ伴フヤウ
ニ考ヘラレテ居ルノデアリマス

○由谷委員 私ノ尋ネタイコトハ今ノ米穀
部長ノ答辯デハ不十分デアリマスガ、ソレ
ナラバ一ツ方法ヲ變ヘテ御尋致シマス、中
庸生産費バカリヲ調べズニ、非常ニ惡イ田
圃ノ生産費、非常ニ優秀ナル田圃ノ生産費
モ同時ニ調べテ、ソコニ米穀部長ノ言ハレ

ル所謂困難ヲ克服スルヤウナ勇氣ヲ農林省
ニ持ッテ貰ヒタイノデアリマス、是レ以上ハ
結局意見ノ交換ニナルト思ヒマスカラ、一
應是デ終リマス

次ニ伺ヒタイノハ生産費ニ付テ最モ重要
ト考ヘル問題デアリマス、是ハ農林大臣ガ見
エテカラ御話スル方ガ適當カモ知レマセヌ
ガ、序デアリマスカラ一應申上ゲテ置キマ
ス、昨日デアリマシタカ、同志小池君カラ
モ質問ノアツタ問題ト同ジコトデアリマス
ガ、假ニ生産費ヲ確實ニ査定サレテ、ソレ
ガ米ノ最低價格トナツタ場合デモ、農民經濟
ヲ深ク考ヘテ見ルト、實ハ非常ニ問題ガ大
キナルノデアリマス、小池君ヨリ昨日ノ
委員會デ、農家ノ自家用飯米ノ生産費ニ對
シテ國家ガ相當ナ補給ヲシナイコトハ怪シ
カラスト云フ意味ノ御質問ガアリマシタ、
私モ其趣旨デアリマスガ、私ハ斯ウ云フ考
方ヲシテ見タイノデアリマス、先日戴イタ
米穀要覽ニ依ルト、先ヅ最近ノ平均米作量
ハ六千八百萬石デアリマス、其中小作米トシ
テ地主ニ取ラレル米ガ一千二百萬石、生産
者ガ自分ノ剩ッタ米ヲ賣出スモノガ二千百
萬石、サウシテ残りノ二千七百萬石ガ自家
用飯米トシテ消費サレル計算ニナリマス、
ソコデ問題ハ生産費ノ損ヲサセナイト云フ

建前ニ於テノ最低米價ノ保護ト申シマス
カ、農家ニ對シ影響スルモノハ、僅ニ小作
米トシテ地主ガ賣ル一千二百萬石ト、生産
者ガ飯米ノ餘リトシテ賣出ス二千百萬石デ
アリマス、全生産額ノ約半分デアアル農家自
身ノ飯米二千七百萬石ノ生産費ニ對シテ
ハ國家ハ全然手ヲ著ケナイノデアリマス、
所ガ之ヲ更ニ自作農、小作農ノ建前カラ考
ヘテ見ルト、自作農ノ場合デハ、自家用飯
米ニ對シテハ先ニ言ッタ通り其生産費ニ付
テ何等ノ恩惠ヲ受ケズ、僅ニ自分ノ賣出ス
剩ッタ米ニ付テノミ生産費ノ最低補償ヲ受
ケルト考ヘマス、小作農ニ於テハ自家用飯
米ノ生産費ノ補償ハ勿論受ケナイシ、更ニ
地主ニ納メル小作米ニ對シテモ生産費ニ對
スル何等ノ補償ヲ受ケテ居リマセス、唯自分
デ食ヒ地主ニ納メタ其餘リノ「エッキス」ナ
ル分量ニ對スル生産費ニ對シテ國家補償ヲ
受ケルニ過ギナイ建前ニナルノデアリマス
ガ、此意味ヲモット詰メテ申シマス、自作
農、小作農ノ直接ノ生産者カラ言ヒマスレ
バ、結局全國ノ米産額六千萬石ノ僅ニ三分
ノ一デアアル二千百萬石ガ、生産費ノ點ニ於
テ米穀統制法ノ一種ノ補償ヲ受ケルト云フ
立場ニアツテ、残り三分ノ二ノ大部分ハ悉ク
自作農、小作農ガ自分ノ生産費ヲ自己ノ負

擔ニ於テ最後マデ背負ッテ行カナケレバナ
ラス、肥料ガ幾ラ高クナラウトモ、農具ガ
幾ラ高クナラウトモ、税金ガ幾ラ高クナラ
ウトモ、三分ノ二ノ自作、小作ノ生産費ハ
悉ク自分ノ懷ロニ於テ處辨セナケレバナラ
ヌトシマスナラバ、米穀統制法ハ實ハ喧シ
イ問題ヲ中心ニ議論ヲ致シマシテモ、其恩
典ニ預ル所ハ僅ニ米産額ノ三分ノ一デアッ
テ、大部分ハ受ケナイト云フコトニナル、
私此點ニ關シテ考ヘルノニ、ドウシテモ生
産費ノ査定ノ中ニ自家用飯米、或ハ小作人
ガ地主ニ對シテ納メル所ノ米ニ對スル生産
費其モノニ付テ相當國家ガ補償スルト申
シマスカ、一種ノ補給ヲスルト云フヤウナ
建前ニ於テ米穀法ガ考ヘラレヌコトハ、甚
ダ遺憾ト思フノデアリマス、此點ハ從來カ
ラ吾々非常ニ心配シテ居タ點デアリマシ
テ、本當ニ農村ノ問題ヲ解決シヨウト思フ
ナラバ、斯ウ云フ米穀統制法ノ立法ヲ基礎
ニシテ、或ハソレヲ動機トシテ、農家ノ負
擔ニ屬スル全生産額ノ三分ノ二ニ當ル生産
費ニ向ッテ、何トカ適當ナ方法ヲ講ジナケレ
バナラスト考ヘテ居リマスガ、此問題ニ對
スル政府ノ所見ヲ伺ヒマス

○荷見政府委員 非常ニ大キナ困難ナ問題
デアリマスガ、大體米ノ調節ヲ致シマスノ

ニ、自家用米ノ價格ヲ調節スルトカ、販賣

米ヲ調節スルト云フナウナ區別ハ私共致サ

スデ、總テ米價ト云フモノヲ一般的ニ高イ

低イト云フコトノ調節ヲ致スト云フ建前ヲ

採ッテ居リマスカラ、今ノ御話ノヤウナ意味

合デ、米生産費ヲ決メマス時ニ、自己ノ消

費ノ分ハ抜イタ分デ以テ、全部ノ生産費ヲ

償フヤウニスル建前ハ困難デアラウト思ヒ

マス、其方法ニ付テマダ能ク研究シテ居リ

マセスカラ是レ以上御答スルコトハムヅカ

シイト思ヒマス

○由谷委員 實ハ御返事ノ出來ナイノモ尤

モト考ヘマス、尤モト考ヘマスガ、私達此

點ニ對シテハ改メテ農林大臣ニ基本的ナ觀

念カラ聞キタイト思ヒマスカラ、是ハ一應

此程度ニシテ、時間モ來マシタガ……

○東委員長 アナタノハ簡單デ打切ルコト

ガ出來ルナラバモウ少シヤッデモ……

○由谷委員 簡單ニ參リマセスカラ午後ニ

致シマス、尙ホ御願シテ置キマスガ午後ハ

商工大臣ノ御出席ヲ御願致シタイト思ヒマ

ス

○東委員長 ソレデハ是デ休憩シテ午後一

時半カラ開會致シマス

午後零時四分休憩

午後一時四十八分開議

○東委員長 ソレデハ是ヨリ開會致シマ

ス

○河野委員 議事進行ニ付テ——委員會ハ

連日ニ互ッテ開會セラレテ居リマスルガ、吾

吾ノ要求スル所ノ參考材料ノ提出モ遅々ト

シテ進マナイノデアリマス、尙且更ニ最モ

本法ヲ審議スルニ重要ナル勅令案ノ要綱ノ

御配付ガナイノデアリマス、是ガナケレバ

吾々ガ審議ヲシ、質問應答ヲ重ネル上ニ於

テ非常ナ支障ヲ來シマシテ、根本ハヤハリ

其材料ガ出デカラト云フコトニナルコト

ハ、今迄其爲ニ徹底シタ政府カラ答辯ヲ聽

クコトモ出來ズ、聽イテモ答辯モナシト云

フヤウナ結果デ、委員會ヲ開イテモ全ク無

駄ナ結果ニナッテ居ルノデアリマス、同時ニ

大臣ノ出席ニ至ッテハ、僅ニ四十分ノ出席

ヲ二回カ、三回見タノミデ、全ク此政府ノ

最モ重要ナル政策トスベキ米穀統制法案ニ

對シテ、政府ハ關係ノ出席ヲ見ズ、政務官

ハ出席シテモ答辯モナク、事務官ト吾々ガ

應答シテ居ルコトハ全ク下ラヌコトデ、是

デハ審議ヲ進メル價値ハナイト思ヒマスカ

ラ、此際政府カラ一切ノ材料ヲ揃ヘテ、審

議ニ支障ヲ來サナイ程度ノ準備ノ整フ迄本

委員會ヲ休會セラレンコトヲ希望致シマス

○松村政府委員 甚ダ大臣モ見エマセヌデ

申譯ナイコトデアリマスガ——只今商工大

臣ガ見エラレマシタ……

○河野委員 他ノ問題ハドウデスカ

○松村政府委員 材料ハ出來ルダケ早く提

出シマスカラドウゾ……

○東委員長 河野君ノ勸議ハ只今政府ニ委

員長カラ交渉シテ、サウシテ材料ハ成ベク

取急イデ出スト云フコトノ回答ヲ得テ居リ

マスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス、ソレカ

ラ大臣ノ出席ヲセナイノハ、大臣ハ農業保

險ト蠶絲國營ノ方ニ出テ居ッタ爲ニ、態々

斷ッテ來テ居ルノデアルカラシテ、二時ニ

ナッタラ大臣ハ出席スル、決シテ委員會ヲ輕

視シタトハ吾々ハ見テ居ラヌノデアリマ

ス、拓務大臣ニハ今交渉シテ居リマス、ソ

レデ勸議ノ如ク休會ヲスルト云フコトニス

レバ、審議ニ非常ニ不便ヲ感ズル點ガアル

カラ、ドウカ此點ハ左様御承知ヲ願ヒタイ

ト思ヒマス、只今商工大臣ガ出席致シテ居

リマスカラ、商工大臣ニ質問ノアル點ハド

ウカ御質問ヲ願ヒマス

○由谷委員 私人質問ハ實ハ農林大臣ニ質

問ヲシテ、ソレカラ商工大臣ニ御話ヲスル

コトガ一番都合モ宜シ、且ツ質問ノ能率ヲ

舉ゲル所以ト考ヘマスガ、折角中島商工大

臣モ御出デニナリマシタカラ、切離シテ質

問ヲ致シマス、政府ノ米穀統制法案ヲ基礎

トシテノ商工大臣ニ對スル質問ガアルノデ

アリマス、私農林大臣カラマダ今度ノ統制

法案ガ豫定スル最高最低米價ノ値開キノ點

ヲ聽イテ居リマセヌ、甚ダ抽象的ナ質問デ

アリマスガ、ソレハ十分ニ御考ヲ織込ンデ

戴キマシテ御答辯ヲ願フノデアリマス、實

ハ私共ハ米ノ如キ國民ノ主要食料品ノ一番

大切ナモノガ、所謂清算市場ノ投機思惑ノ

材料ニナッテ居ルコトガ、大體間違ッテ居ル

ト思ッテ居リマス、政府ハ本法ノ實施ニ依リ

マシテ、只今ノ清算市場ヲ廢止スル意思ガ

アルカドウカ、商工大臣ニ御尋スルコトハ

少シク見當違ヒカモ知レマセヌガ、若シ商

工大臣ガ國務大臣トシテ御承知ナラバ取引

所ノ問題ト、此米穀法ノ豫定スル最高最低

ノ値開キノ問題トノ交渉ト申シマスカ、連

絡ト申シマスカ、ソレ等ニ對シテ相當御意

見ガアラウト思ヒマスカラ、拜聽シテ置キ

タイノデアリマス

○中島國務大臣 只今ノ御尋ハ多分斯ウ云

フ御趣旨カト思ヒマス、此度ノ米穀統制法

案ニ依リマシテ、米價ノ高低ヲ律シマシテ、

其高低ノ間ニ於テ米價ヲ統制スルト云フ法

案ノ趣旨ニナッテ居リマス、ソレガ爲ニ自然

取引所ノ機能ニ與ヘマスル影響ガアリ得ル、其點ニ付テノ御尋ト拜承致シマス、只今商工省當局ト致シマシテハ、米穀取引所ノ存廢ニ付テハ考ヘテ居リマセヌノデゴザイマス、唯御案内ノ通りニ、米ガ日本國民ノ主要生産デアリマスルト同時ニ、又主要ナル需要物デアリマスルガ爲ニ、段々米穀竝ニ其關係ノ事項ニ對シマシテ、國家ノ統制ガ行ハレルニ伴ヒマシテ、取引所ノ作用ガソレニ依ッテ影響ヲ與ヘラレルコトハ、洵ニ已ムヲ得ナイコト、思フノデアリマス、

今度殊ニ値幅ガ自ラ統制サレルト云フコトニナリマスルト、取引所ノ思惑ノ範圍ガ之ニ依ッテ縮小サレル譯デアリマス、漸次米ト云フモノヲ基本ト致シマシタル投機思惑ノ範圍ガ縮小サレマスルコトニ依ッテ、米穀白體ノ價格モ統制サレルカト思ヒマスシ、又取引所モ國策上已ムヲ得ズソレダケ其機能ヲ制限サレルコトハ致シ方ナイト存ジマス、大體ニ於テ取引所ノ機能ガ米穀ノ統制ニ伴ヒマシテ、制限ヲ受ケルコトハ洵ニ已ムベカラザル歸趨ト存ズルノデアリマス

○由谷委員 承リマス、取引所ノ機能ガ政府ノ國策ノ爲ニ段々狭クナッテ來ル、是ハ已ムヲ得ナイ、斯ウ云フ御意見ノヤウニ拜聽シタノデアリマスガ、更ニ米穀統制法案

ト云フヤウナモノ、制定ヲ基礎トシテ、近イ將來ニ米穀取引所ニ向ッテ廢止ヲ命令スルヤウナ御意思ガアリマスカドウカ、承ッテ置キタイノデアリマス

○中島國務大臣 重ネテノ御尋デゴザイマスガ、是ハ自然ノ歸趨ニ委スル外ハナイト存ジマス、又其場合ニ於テ自然取引所自體ノ更生ト申シマスルカ、又其時代ニ順應致シマシタル、更生シタル取引所ノ組織ヲ考ヘナケレバナラヌヤウニ立到リマセウトモ思ヒマスルケレドモ、只今ノ所デハ先ヅ自然ノ歸趨ニ委セマシテ、其上ニ於テ臨機善處スル外ハナイト存ジマス

○由谷委員 取引所問題ハ是レ以上意見ヲ交換シマシテモ、結論ハ大體分ッテ居ルヤウデアリマスカラ打切りマスガ、折角商工大臣ガ御出デニナッタノデアリマスカラ、私ハ米穀統制法案ニ關係シタ意味ニ於テノ、農村問題トシテ疏安ニ關シテ御尋シタイノデアリマス、實ハ先達本法案ガ本會議ニ掛リマシタ時ニ、私商工大臣ガ御出席デアルナラバ、是等ニ向ッテモ質問シヨウト考ヘテ居タ事項デアリマス、商工大臣ノ御主管ニナッテ居リマス重要産業統制法ノ中ニ疏安ハ入ッテ居ルカ居ラヌカ、實ハ私能ク調べテハ居リマセヌガ、多分其範圍ニ入ルト思ヒ

マス、由來疏安共同販賣組合、或ハ外安販賣會社等ガ所謂獨占形態ノ強イ力ニ依ッテ、農村ニ對スル疏安ニ脅威ヲ與ヘテ居ルコトハ御承知ノ通りデアリマス、之ニ對シテ昨年ノ暮デアリマシタカ、全講聯カラ政府ニ向ッテ陳情ガ出デ居リマス、其中ニ疏安ノ最高價格ヲ決定スルコト、或ハ疏安組合、外安販賣會社ガ賣止メ、賣惜ミヲ爲サルマルヤウ、暴利取締令ノ適用ニ依ッテ、及ビ其他適當ノ處置ヲ執ルコトヲ主張シテ居リマス、帝國農會ニ於テモ疏安價格公定ノ必要ヲ唱ヘテ居ルコトモ御承知ト考ヘマス、政府ハ重要産業統制ト云フ見地ニ立ッテ、特ニ中島商工大臣ハ斯ウ云ッタ自由主義經濟ニ向ッテ相當思切ッタ國家權力ノ發動ヲ御考ニナッテ居ルカドウカ、此質問デアリマス、私商工大臣ニ向ッテ常ニ敬意ヲ拂ッテ居ルノデアリマス、商相ハ日本計畫經濟ノ首唱者トモ聞イテ居リマス、昨年商工大臣ニ御就任ノ當時ニ、中外商業新報デアリマシタカ、産業合理化ヨリ統制經濟ト云フ論文モ拜見シタ次第デアリマス、ドウゾ斯ウ云フ意味ニ於テ疏安肥料問題ニ對シテ、政府ノ國家權力發動ノ意思アリヤ否ヤ、之ヲ依然タル自由主義經濟ニ放任シテ置イテ、農家ガ之ニ依ッテ蒙ル利害得失ニ對シテハ全然手ヲ著

ケナイノカ、其處ニ何カ具體的ノ御意見ガアルノカ承ッテ置キタイト思ヒマス

○中島國務大臣 今根本的ニ斯ウ云フ具體案ヲ有ッテ居リマスルト云フコトヲ申上ゲ兼ネマスルケレドモ、大體此肥料ガ農村ノ需要物ト致シマシテ、極メテ重大ナル關係ヲ有ッテ居リマスルコトニ鑑ミ、殊ニ昨今農村救済ノ聲ガ朝野ニ喧シキ折柄デアリマスルカラ、先ヅ大體只今ノ御尋ヲ蒙リマシタコトニ付テハ、私ノ所論モアリマスルガ、責任ノ立場カラ見マシテ、是非此重要産業ニ對スル統制經濟ノ歩武ヲ將來ニ進メタイトモ思ッテ居リマスルガ故ニ、過般ソレ等ノ考ヲ以チマシテ過燐酸肥料工業ニ對シマシテ、重要産業ノ統制ヲ適用致スコトニ致シマシタヤウナ次第デアリマス、尙ホ將來此種社會大衆ノ利害ニ密接ナル關係ヲ有ッテ居リマスル産業、ソレ等ニ付キマシテハ漸次國家統制ノ實ヲ舉ゲテ行カネバナラヌカト思ッテ居リマスルガ、只今ノ所御尋ニ即シマシテ御答致ス所ハ以上ヲ以テ御諒解ヲ願ヒマス

○由谷委員 甚ダ追窮ヲ申上ゲルヤウデアリマシテ、少々御迷惑カト思ヒマスガ、先刻ノ御尋ヲモット要約シテ申シマスレバ、今ノ現實ノ問題トシテ全講聯ナリ、帝國農會

ノ主張シテ居ル硫安ニ對スル公定價格ヲ政府ノ力ヲ決メテ行ク意思ガ有ルカ無イカヲ、ハッキリ御示シテ願ヒタイノデアリマス

○中島國務大臣 只今ハッキリ御答ノ出來ナイコトヲ甚ダ遺憾ト致シマス、其點ハ商工省ノ立場ニ於テモ、昨今十分ニ考慮ヲ拂ッテ居ル問題デハゴザイマスルガ、此席ニ於テハッキリ御答ノ出來ナイコトヲ甚ダ遺憾ト致シマス

○河野委員 商工省ハ嘗ツテ硫安ノ輸出入許可制度ヲ採ッテ居リマシタ當時ニ、硫安ノ最低價格ハドノ位デ宜イグラウカト云フコトヲ、農林商工兩省ニ於テ研究シタコトガアルノデアリマス、其當時ニハ商工省ノ調査シテ居ラレマシタル各硫安會社ノドノ程度ノ値段ナラバ引合フダラウ、ドノ程度ノ値段ニシタラ適當デアるかト云フコトヲ御考慮ニナッテ居ル、商工省ハ硫安ノ各製造會社ノ生産費ト、一定ノ利潤ヲ加ヘテ硫安ノ最低價格ヲ決メベキデアるかト云フコトヲ御主張ニナッテ記憶シテ居ルノデアリマスガ、事實間違アリマセスカ

○中島國務大臣 私モ其當時ノ關係ニ於テハ熟知ハ致シテ居リマセヌ、サウ云フ方法ヲ考ヘタト云フコトモゴザイマスサウデアリマスケレドモ、主張致シタ事實ハナイサ

ウデアリマス

○河野委員 例ノ硫安輸入管理ノ法案ガ出來マシテ、其後農林商工兩省ノ間ニ於テ、色々其當時硫安ノ市價ガ暴落致シマシタ、何トカ之ヲ此程度ニシナケレバナラス、外國ニ於テモ硫安ノ「ダンピング」ヲヤッテ居ルト云フコトデ、農林商工兩省ノ間ニ相談シマシタ時ニ、商工省ガ内地ノ硫安ノ最低價格ヲ決定スル場合ニハ、生産費ニ利潤ヲ加ヘテ考ヘベキデアるかト云フヤウニ、農林商工兩省デサウ云フヤウナ意見ヲ御有チニナッテ居ッタ事實ガアリマスカ

○中島國務大臣 私モ其當時ノ關係者デゴザイマセヌカラハッキリシタコトヲ申上ゲ兼ネマスルケレドモ、サウ云フコトヲ論議致シタコトハアルサウデゴザイマスルケレドモ、何等ソレニ付テハ取極メテ、協議ヲ纏メタコトハナイサウデアリマス

○河野委員 中島商工大臣ハ獨リ硫安トハ限リマセヌガ、産業ノ統制ヲ御ヤリニナル場合ニ、其一例トシテ硫安ヲ採リマスガ、硫安ノ價格ガ現在ノヤウニ幸ヒ暴騰シテ居リマスルガ——製造會社ノ見地カラ見レバ幸ヒ暴騰シテ居リマスガ、是ガ昨年度ノヤウニ暴落シタ場合ニ、内地ノ硫安製造會社保護ノ見地ニ立ツ場合ニ、其最低價格ヲ生

産費ニ一定ノ利潤ヲ加味シテ決メルコトガ適當デアるかト御思ニナルノデアリマスカ、乃至ハ生産費ダケデ、寧ロ利潤ヲ考慮スル必要ナシトセラレルカ、何レデアリマスカ、御答辯ヲ願ヒタイ

○中島國務大臣 單ニ硫安ノミナラズ、大體今後産業ニ對スル國家ノ統制ヲ行ヒマス場合ニハ、此生産費ガ徒ニ其當業者ノ經營ヲ誤ッテ居リマスルガ爲ニ、高クナッテ居リマスルコト、乃至ハ從來極メテ不良ノ債務ガゴザイマスル爲ニ高クナッテ居ル、結局不純不良ナ原因ニ依ッテ生産費ノ高クナッテ居リマスル場合ニ於テハ、是ガ其企業ニ附帶致シマシタル利益ヲ見テ市價ヲ決メマスルコトハ、或ハ不當カト思ヒマスケレドモ、其生産費ノ基礎ガ所謂合理的ナモノデアッテ、其生産費ニ付テハ從來何等不良債務ノ結果ニモアラズ、又當業者ガ經營ヲ誤ッタガ爲ニモアラズ、所謂合理的ノ生産費デアリマス限リハ、之ニ資本ニ對スル若干ノ利潤ヲ見マシテ、市價ヲ決定スルコトハ當然ダト信ズルノデアリマス

○河野委員 サウ致シマスト國務大臣ノ見地デ御尋スルノデアリマスルガ、内地ノ米價ヲ決定致シマス場合ニ、米價ノ最低價格ヲ決定致シマス場合ニ、生産費ニ適當ノ利

潤ヲ考慮スルコトノ可否ニ付テノ御意見ハ如何デスカ

○中島國務大臣 私ハ特ニ此米トカ、何トカ決メテ申上ゲマスル場合ニハ、其米ニ屬シマシタ事情ニ付テノ適確ナル判斷ヲ得ル材料ガナイノデゴザイマスルケレドモ、大體只今申上ゲマシタ通りニ、普通合理的生産費ノ上ニ資本ノ利益ヲ加ヘマスコトハ、何種ノ物品ニ拘ラズ、是ガ市價ヲ決定スル上ニ於テハ、洵ニ當然ナコトト思フ次第デアリマス

○河野委員 サウ致シマスト、今米トカ何トカ言フヤウナ、所管外ト云フヤウナ意味合ニ前提ハアリマシタガ、米價ノ問題ハ生産者竝ニ消費者、殊ニ寧ロ商工大臣ノ所管ニ屬スベキ消費者階級ノ見地カラ見テ重大ナ問題デアリマス、是ハ一國ノ關係トシテ、當然一商工大臣ノ所管ニ屬スベキ問題トセズシテ、御考慮願ハナケレバナラス問題ト考ヘマス、其意味ニ於テ、今回ノ米穀統制法案ノ最低價格ガ、生産費ヲ基準トシテ決定セラレテ居ルト云フコトニ對スル商工大臣ノ御意見ハ如何デスカ

○中島國務大臣 私ハ此際單獨ニ此米穀統制法ノ内容ニ關シマスル意見ノ陳述ハ、之ヲ避ケタイト思ヒマスルガ、今回米穀統制

法ニ依ル米價ノ基準ト致シマスルコトハ、大體ニ於テ合理的ノモノデアルト信ジテ居ル次第デアリマス

○河野委員 商工省ハ米ヲ作りマス所ノ、

一番重要ナル要素ノ肥料ノ價格ヲ決定スルニ當テハ、生産費ニ利潤ヲ考慮シテ最低價格ヲ決定シヨウトセラレルコトガ、從來ノ商工省ノ主張デアリマス、此主張ハ、商工大臣ハ私ノ知ラヌ前ノコトダト仰シヤイマシタガ、現中島商工大臣ハ就任後、此肥料輸入管理法案ヲ實施セラレテ居ッタノデアリマス、アナタガ御就任ニナッテ後、昨年ノ秋ニ廢止セラレタノデアリマス、其期間ニ於テハ當然此肥料ノ最低價格ハドノ位ニシタラ宜イカト云フコトヲ御考ニナッテ居ラレル筈ノモノデアリマス、ソレデアナタハ御存知ナカタカモ知レマセヌガ、アナタノ部下ニ於テハ疏安ノ最低價格ヲ決定スル場合ニハ、生産費「プラス」利潤ト云フコトヲ御主張ニナッテ居ッタ事實ハ明カデアリマス、サウ致シマス、肥料ノ最低價格ヲ決メル場合ニハ、生産費ニ利潤ヲ加ヘタモノヲ以テ主張セラレ、一方之ヲ以テ生産費ノ重要ナル要素トシテ居ル米價ノ決定ニ當テハ生産費タケヲ以テ最低價格ノ基準トシテ宜シイト云フ議論ハ、餘リニ農村ノ立場

ヲ無視シタ商工大臣ノ考方ト私ハ思フノデアリマスガ、何等カ御所見ガアリマシタラ商工大臣ニ御伺シテ、商工大臣ニ對スル質問ハ止メマス

○由谷委員 私モ其點ニ付テ強ク觸レテ置

キタイノデアリマスガ、實ハ農林大臣ニ對スル質問ノ條項ノ中ニ私モ持ッテ居ルノデアリマス、偶々河野君カラ利潤問題ガ出マシタカラ申上ゲテ置キマスガ、要スルニ一國ノ政府ノ所謂統制觀念ノ中ニ於テ、一方ニ於テハ最低基礎ニ利潤ヲ認メズ、一方ニ於テハ相當ナ利潤ヲ見込ムト云ッタ風ナ片手落ナ不公平ナ態度ガアルベキ筈ハナイト思フノデアリマス、偶々商工大臣ガ此席ニ御越シニナリマシテ、此問題ニ極メテ重大ナ「ポイント」ヲ示シテ貫ヒマシタコトヲ私衷心カラ愉快ニ感ジマスシ、今後米穀統制法案ノ審議ニ當ッテ此問題ガ極メテ強イ理由ニナルデアラウト豫メ申上ゲマシテ、政府ニ一層ノ御考アラントコトヲ要求シテ置キマス

○田中委員 商工大臣ニ一寸御伺致シマ

ス、今回ノ米穀統制法案ニ付キマシテ、値幅ノ縮小ニ依ッテ取引所ガ非常ニ損害ヲ蒙ムルト云フ狀態ニナルト云フコトデ、全國ノ取引所、取引所員組合ニ於テ大分反對ノ議論ガ出テ居ルヤウニ伺ッテ居リマス、此統

制法案ニ於キマシテ上値、下値ノ米穀ノ相場ガ縮小致シマスルト、取引所、取引所員ハ非常ニ影響ヲ受ケマシテ、隨ッテ取引所員ニ於テモ廢業ヲセヌナラヌト云フヤウナ人モ出ルヤウニ聞イテ居リマス、ソレニ對シマシテ、商工大臣ニ監督官廳ト致シマシテ御所見ガ承リタイノデアリマス、大分反對ノ陳情モ出テ居ルヤウニ聞イテ居リマス、商工大臣ノ御意見ハ如何デゴザイマセウカ、一寸伺ッテ置キタウゴザイマス

○中島國務大臣 今回ノ米穀統制ニ對シマ

シテ、取引所側カラノ陳情ノゴザイマスルコトモ十分承知致シテ居リマス、先程申上ゲマシタ通りニ、今回ノ統制法ニ依リマシテ取引所ノ思惑ノ範圍ガ縮小サレマスルコトハ洵ニ已ムヲ得ナイト思ヒマスケレドモ、大體現狀ニ於テモ段々米穀取引所ノ思惑ノ範圍ガ自然的ニ縮小サレツ、アルノデアリマシテ、其關係ニ於テ、此法律ガ實施サレマシテモ、現狀ト餘リ甚ダシキ差等ハナイノデハナイカト私ハ思ウテ居リマス、畢竟米穀取引所側ノ陳情ノ趣旨ノ存スル所モ洵ニ諒ト致シテ居リマスルケレドモ、私ハ斯様ニ見テ居リマスル次第デアリマス

○田中委員 サウ致シマスルト、詰リ取引

所、取引員組合カラノ反對陳情ニ對シマシ

テハ、商工大臣トシテハ何等考慮ヲ拂ハレヌコトニナリマセウカ、一寸伺ヒマス

○中島國務大臣 イヤ十分考慮ハ拂フ積リ

デゴザイマス、唯私ノ見ル所ハ、多少思惑ノ幅ガ狭マルカト思ヒマスケレドモ、只今申シマス通り、現狀ニ於テモ、昔ト違ヒマシテ、段々思惑ノ範圍ガ縮小サレツ、アル自然ノ成行デゴザイマスルカラ、餘リ現狀ニ變リハナイノデハナイカト思ウテ居リマス次第デアリマスルケレドモ、無論陳情ノ趣旨ノアリマスル所ニ對シマシテハ考慮ヲ加ヘタイト存ジテ居ル次第デアリマス

○田中委員 能ク分リマシタ

○由谷委員 農林大臣ガ來ルマデニ少シ能率ヲ舉ゲル爲ニ米穀部長ニ聽イテ置キマスガ、昨年農村ガ非常ニ困ッタノ場合、政府米ノ無償拂下、或ハ非常ニ安イ拂下ノ要求ノアツタ際ニ、外國ニ向ッテ只見タヤウニ賣ッテ居ルノデハナイカト云フコトデ非常ナ衝動ヲ與ヘタコトハ、私共農村ニ歸ッテ承知致シテ居リマス、之ニ對シテ過日多少質問ガアツタヤウデアリマスガ、政府ガ外國ニ賣ッタ相場——其安イ物モ莫大ナモノデハナカッタト云フヤウナ御答デナシニ、具體的ニ一番安イモノハ幾ラデアリ、一番高ク賣レタモノハ幾ラデアッタカ、聽イテ置キタイノ

デアリマス

○荷見政府委員 今ノ御質問ニ御答申上ゲマスガ、價格ハ此處ニ持合セガアリマセヌカラ、何レ適當ノ機會ニ調査致シマスガ、最近御話ノ通りニ、詰リ昨年ノ不況時代ニ外國へ賣却致シマシタ數量ハ極メテ僅カデアリマス、ソレカラ其價格ハ、内地米ニ於テ古米ノ整理拂下ヲ致シテ居リマシタト大體同等ノ價格デゴザイマシテ、品質等級ニ依ッテ差ハゴザイマスガ、大シタ差ハナカタヤウニ記憶致シテ居リマス

○由谷委員 澤山賣ッタトカ、少シシカ賣ラナカッタトカノ問題デヤナイノデアリマス、例ヘバ深川ニ參リマシテモ、農林省ノ大キナ米穀倉庫ガアル、其前ニ澤山ノ「ルンペン」ガ今夜食フ物ガナクテ困ッテ居ル、之ニ對シテ政府ノ米穀政策ガ社會問題ニ大キナ衝動ヲ與ヘルコトヲ吾々ハ心配シテ居ッタノデアリマス、ドウカ後デ其數字ヲ具體的ニ御示シテ願ヒタイノデアリマス

更ニ此委員會ノ一番初メデアリマシタカ、土井君ノ質問ニ對シマシテ、政府ノ買フ米ニ對スル費用ノ御答辯ガアッタヤウデアリマス、一石一年一圓ノ費用ト云フ風ニ、御答デアッタヤウニ記憶シテ居リマスガ、吾等世間ノ常識カラ言ッテ、單ニ倉敷ト云フ以

外ニ、或ハ品傷ミカラ來ル損失、或ハ古米デアルガ故ニ値下リカラ來ル損失、斯ウ云フモノヲ合算スルト、結局一年ニ一石ニ付テ五圓ノ損失ガアルト思フノデアリマスガ、政府ノ前ノ一圓損失論ガ正當デアリマスカ、今少シク具體的ニ承ッテ置キタイノデアリマス

○荷見政府委員 先日土井サンニ御答致シマシタノハ、保管料ガ一石ニ付テドノ位要ルカト云フコトヲ御答致シタノデアリマス、保管料ト致シマシテハ、平均致シマシテ一年一圓ト云フコトニ御承知願ッテ置キマシタ、ソレカラ其外ニ政府ハ米穀ヲ買入レテ置キマス爲ニ借入金ヲ致シマスカラ、其借入金ノ金利ガ付クノデアリマス、是ハ石ガ二十圓デアレバ二十圓ノ五分、二十五圓デアレバ二十五圓ノ五分ニナルノデアリマシテ、標準的ニナンボト云フコトヲ申上ゲルコトハ非常ニ困難デアリマスガ、大體其價格ニ對スル年五分位ノ利息ガ付キマス、ソレカラモウ一ツ今御話ガアリマシタノハ、政府ガ米穀ヲ貯藏致シテ置キマス結果、古米ニ依ッテ新米ト古米トノ格差ガ出來ル、其格差ヲ幾ラニ見ルカト云フ問題デアリマスガ、是ハ相當格差ガ付クノデアリマスカ、果シテ損失ト見得ルノデアリマセウ

カ如何デアリマセウカ、問題デアリマス、米價ガ非常ニ上ッテ參リマス、從來ノ格差ガ付キマシテモ、尙買入代金ヨリ餘計ニナリマスシ、米價ガ下落シテ參リマスト買入原價ヨリモ尙ホ非常ニ安クナルノデアリマスカラ、其差ヲ損失ト見ルコトハ如何カト思ヒマスケレドモ、一年間ニ於キマシテハ價格ガズツト年ヲ通ジテ同ジデアルト前提致シマス、大體二圓半カラ三圓位ノ値下リヲ見ルノデアリマスカラ、御話ノ普通ノ場合ヲ假定致シマシテ、其假定ノ下ニドウ云フ風デアアルカト言ヘバ、矢張三圓半カラ四圓前後ノ損失ニナル譯デアリマス

○由谷委員 ソコデ問題ガ本質ニ入ッテ來ルノデアリマスガ、是ハ米穀部長ニ御尋シテ適當デアアルカドウカ知リマセヌガ、米穀統制法ノ實施ニ依ッテ政府ハ運用資金ニ損ガ行カスト考ヘテ居ルカ、相當ノ缺損ヲ豫想シテ居ルカノ問題デアリマス、是等ニ對シマシテ政府ノ所見ヲ御伺致シタイト思ヒマス

○荷見政府委員 事務的ノ見解ヲ私カラ申上ゲマス、此米穀統制法ヲ立テマスル際ニ公定價格主義ヲ採リマシテ、最低價格、最高價格ト云フモノヲ確定致シマシテ、其最低價格、最高價格ヲ維持致シマス爲ニハ、

下リマスル場合ニハ、最低價格ヲ以テ死力ヲ盡シテ買入ヲ行フ、騰貴致シマスル場合ニハ、政府ガ所有シ居ル米穀ヲ以テ出來ルダケ最高價格ヲ維持スル爲ニ、最高價格デ以テ拂下ヲ行フ、斯ウ云フ建前ニナッテ居リマス、他ニ其間ニ於キマシテモ出廻時期ニ於ケル米ノ一時ニ市場ニ出マスコトヲ防ギマシテ、數量ノ平準的ナ出廻ヲ得ルヤウニ致シ、ソレニ依ッテ價格モ甚シイ動搖ガナイヤウニ致ス、此二ツノ方策ヲ採ッテ參リマスレバ、最低價格マデ行カズシテモ、價格ガ維持サレル場合ガ可ナリ多イト云フ風ニ思ハレルノデアリマス、ソレモ特別會計ノ資金ノ限度ニモ關係ガアリマス、資金ガアレバ飽迄モ買ッテ參リマス、買入資金ガ極メテ貧弱ナモノデアレバ、之ヲ維持スルコトハ容易デナイカモ知レマセヌケレドモ、此資金ガ相當ニ多イモノデアリマスレバ、是ハ相當ニ價格ガ維持サレル、隨ッテ買入數量ト云フモノモ甚シイモノニハナラヌ積リデアリマス、サウスレバ却テ特別會計ノ受クル損失ト云フヤウナモノモ、少クテ目的ヲ達スルノデハナカラウカト云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、尙ホ季節買入ノ米穀ニ付テモソレガ爲ニ損失ヲ生ズルコトガアリハセヌカト云フヤウナ御話デアリマス

ガ、是ハ年内ニ賣却スルノデアリマスカラ別ニ格差ノ問題ハ甚シキコトニハナラヌ、斯ウ云フ風ニ考ヘマス

○東委員長 ソレデハ拓務大臣ガ要求ニ依リマシテ出席致シマシタカラ、朝鮮、臺灣ニ關シテ此統制法ニ關係スル範圍ニ於テドナタデモ御質問ヲ御許シ致シマス

○土井委員 御尋致シタイノデアリマシガ、元來日本内地ニ於テ米穀統制ノ問題ガ喧シク相成リ、且又大正十年ニ制定サレマシタル米穀法ノ不完全ト云フコトヲ感ズルニ至リマシタル一大原因ハ何デアルカト申シマスレバ、朝鮮米竝ニ臺灣米ガ内地米ヲ壓迫スル、是デアリマス、丁度米穀法制定ノ時ニ於キマシテハ朝鮮米、臺灣米ハ合計三百萬石位シカ入ラナカッタデアリマス、ソレ故ニ餘リ其影響ハナカッタ、寧ロ朝鮮米、臺灣米ノ爲ニ内地ニ於ケル米ノ不足ヲ補フト云フ效果ガアッタデアリマスルガ、其後段々朝鮮方面ニ於テハ產米計畫ト云フモノガ實行サレ、遂行サレ、其結果此頃ニナリマシテハ少クトモ一年ニ千萬石朝鮮、臺灣カラ内地ニ入ッテ來ル、此處デ内地ノ米ノ數量ハ、凶作ナドニ依ッテ需要ト供給ガ平均セズシテ寧ロ供給ノ足ラザル年ト雖モ、只今申上ゲタ事實ニ依ッテ非常ニ供給過多ト云

フ現象ヲ起スノデアリマス、ソレデ段々内地米ガ下ル、農家ハ收入ガ少ク、損ヲシナケレバナラス、段々負債ト云フモノガ殖エテ來テ、今日ニ於テハ農家ノ負債六十億、而モ年々六億宛農家ノ負債ガ殖エツ、アルト云フ現狀デアリマス、眞ニ米價ヲ統制シヨウト云フニ付テハ、先ヅ此根本問題ハ只今申上ゲマシタ通り朝鮮米、臺灣米ヲドウスルカ、是ガ先決問題デアリマス、是ニ於テ農林省ニ於テモ此朝鮮、臺灣米ノ統制管理ニ關シ非常ナ御勞苦デアッタヤウニ思フノデアリマス、其事モ承ッテ居リマス、所ガ臺灣ナリ、特ニ朝鮮方面ニ於テハ植民地ノ米ヲ統制或ハ管理サレルト云フガ如キコトハ、非常ニ苦痛デアルト云フノデ、非常ニヤカマシク運動ヲ致シテ居リマシテ、又朝鮮人モ態、内地ニ參テ非常ニ反對シタノデアリマスルガ、ソレガ爲ニ拓務省ニ於テモ大ニ心ヲ悩サレタカ、所謂心機一轉サレテ成ベク朝鮮米、臺灣米ノ方ニハ觸レナイヤウニト云フヤウナ態度ヲ御執リニナッタト云フコトヲ承ッテ居ルノデアリマスガ、將來朝鮮米、臺灣米ト云フモノハ米ノ統制上ニ於テ非常ニ必要ナ、所謂重要性ヲ有ッテ居ル問題デアリマス、拓務大臣ハ之ニ對シテ如何ナル御所見ヲ御有チデアリマスカ、ソ

レヲ先ヅ第一ニ承リタイノデアリマス、其他色々關聯問題ガアルデアラウト思ヒマスカラ、私モ承リタイシ、又委員各位ニ於カレマシテモ關聯シテ色々質問ガアルト思ヒマスガ、差當リ朝鮮米、臺灣米ニ對スル御所見ヲ承リタイノデアリマス、特ニ此朝鮮ノ產米計畫ガ段々實行、遂行サレテ殖エツ、アルヤウデアリマスガ、之ニ對スル御所見ハドウカ、第一ハ大體ノ御所見、第二ハ產米計畫ニ對スル御所見、第三ト致シマシテハ、滿洲ニモ大分米作ガ出來ルヤウデアリマスガ、是等ニ對シテドウ云フ御考ヲ御有チニナッテ居リマスカ、或ハ管轄違ヒカハ知レマセヌケレドモ、其三點ニ付テ御伺致シタイト思ヒマス

○永井國務大臣 土井君ノ御質問ノ第一點ニ對シテ御答ヲ申上ゲマス、土井君ガ御話ニナリマシタ通り、朝鮮臺灣ノ米ハ寧ロ最初ハ内地ニ於ケル米ノ缺乏ヲ補フト云フコトヲ目的トシテ、其補充力カラ培養スル爲ニ全力ヲ盡シマシテ、產米増殖計畫ノ如キモノモ出來タニ相違アリマセヌ、今日米ノ供給ガ過剩ノ形ニナリマスニ付キマシテ、朝鮮臺灣ノ米ヲ如何ニ取扱フカト云フコトハ、如何ニモ重大ナル問題ニナッテ參リマシタ、内地ニ於ケル農村ノ生活ノ苦痛ニ對シ

マシテハ、私共モ十分ニ理解ヲ持チ、又ソレヲ救済シナケレバナラヌト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマスガ同時ニ同ジ陛下ノ赤子デアアル朝鮮臺灣ノ農村モ、非常ナル生活ノ苦痛ニ襲ハレテ居ルト云フコトヲ、看過スルコトハ出來ナイノデアリマス、ソコデ政府ト致シマシテハ、此米ノ生産或ハ供給ヲ調節シテ行クト云フコトニ付キマシテ、色々方策ヲ建テナケレバナリマセヌガ、唯内地ト朝鮮臺灣ヲ差別待遇ヲスルト云フコトハ、大ニ考ヘ物ダト思フノデス、或ハ内地外地ヲ通ジマシテ、一大經濟單位ヲ組織シテ、國家非常ノ場合ニハ自給自足スルコトモ考ヘナケレバナラナイノデアリマスカラ、ソコデ吾々ハ内地ニ於ケル農村ノ救済ヲスルト同時ニ、又外地ニ於ケル農村ノ救済ヲモ、十分ニ考ヘナケレバナラナイト思ッテ居リマス、拓務省ハ唯其點ニ於テ、出來ルダケ内地外地ヲ通ジテ、同ジ陛下ノ赤子トシテ、其生活苦ヲ免レシムルコトニ努力スル際ハ、差別ヲシナイデ努力シナケレバナラヌト云フコトヲ、主張スルダケデアリマシテ、其精神ハ土井君モ御諒承下サッタコト、思ヒマス

ソコデ朝鮮臺灣ノ米ノ生産或ハ供給ガ過剩ニナッテ、其爲ニ内地ノ農村ヲ壓迫スルト

云フ場合ハ、出來ルダケ之ヲ統制シナケレバナラスト思ヒマス、ソコデ米穀調査會ノ御決議ノ次第モアリ、内地ノ農村ノ爲ニ朝鮮ノ農村ヲ犧牲ニシテ居ルト云フヤウナ誤解ヲ、朝鮮人ヤ臺灣人ニ與ヘルコトハ、非常ニ警戒シナケレバナリマセヌカラ、サウ云フヤウナ誤解ヲ與ヘナイヤウニ、内地ニ對シテ供給ガ過剩トナラナイヤウニ、朝鮮ニ於キマシテハ、朝鮮總督府ガ中心トナリマシテ、農林省トモ協力シテ、サウシテ自治的ニ朝鮮ノ米ハ出來ルダケ統制シテ、累ヲ内地ニ及ボサヌヤウニシタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、臺灣ニ於キマシテモ亦同ジ方針デ、自治的ニ臺灣米ヲ統制致シマシテ、サウシテ供給過剩ノ爲ニ、内地ノ農村ニ苦痛ヲ與ヘナイヤウニ、其數量ナドノ點ニ付キマシテハ、農林省トモ十分協力致シマシテ、其統制ノ目的ヲ遂ゲタイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、ソコデ朝鮮米ノ自治的ノ統制ニ付キマシテモ、今政府ニ於テ計畫中デアリマシテ、不日此計畫ガ具體的ニ決定致シマスレバ、議會ニ提出シテ、十分皆様ノ御審議ヲ仰ギタイト考ヘテ居リマス、產米増殖計畫ハ只今土井君ガ御話ニナリマシタ通り、是ハ内地ノ米ガ缺乏シテ居ルノデ補フト云フ最初目的デ建テラ

レタノデアリマスカラ、今日カラ見マスト、大分時代ノ要求ニ適合シナイ所ガアリマス、ソコデ產米増殖計畫ハ今日ハ失業者ヲ出サル程度ニ、出來ルダケ縮小致シマシタ、今日ハ豫算デモ御承知ノ通りニ、其土地ヲ寧ろ棉花ノ栽培ニ振向ケルト云フヤウナ計畫ヲ、立テ、居ルヤウナ次第デゴザイマス、大體只今申上ゲマシタヤウナ方針デ内地外地ヲ通ジマシテ、米ノ供給過剩ノ爲ニ、米價ノ下落ヲ惹起シ、ソレガ農村ノ打撃ニナラナイヤウニ、内地外地ヲ通ジテ出來ルダケ協力ヲシマシテ、御互ニ自治的ニ其效果ヲ上ゲタイト、斯様ニ考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○河野委員 關聯シテ質問致シマス、拓務大臣ハ米價ノ最低價格ヲ決定スルニ當ッテ、其生産費ヲ基準トシタルモノヲ以テ、妥當ナリトスルヤ否ヤト云フコトヲ質問致シマス

○永井國務大臣 其御尋ニ付キマシテハ、大體今日農林省ガ執ッテ居リマスヤウナ見解デ、私ハ其外ニ別ニ蛇足ヲ加ヘル必要ハナイヤウニ思ヒマス

○河野委員 サウ致シマス、拓務大臣ノ只今ノ御意見ニ依リマスルト、朝鮮、臺灣人モ共ニ 陛下ノ赤子デアルカラ、内地ト

ハ差別的待遇ヲシタクナイト云フコトデアリマスガ、ソコデ私ノ御尋致シタイト思ヒマスノハ、然ラバ拓務大臣ハ朝鮮、臺灣ノ米ノ生産費ニ付テノ確實ナル御統計ヲ御持合セデアリマスカ、乃至ハ御調ニナッタコトガアリマスカ、ドウカト云フコトヲ御伺シタイ

○永井國務大臣 私ガ出來ルダケ一視同仁デ、救済ノ方法ヲ考ヘナケレバナラナイト言ヒマスノハ、生活程度モ高イ、又物價モ高イト云フヤウナ方デハ、ソレニ相應シテ米價ノ如キモノモ當然考慮サル、デアリマセウガ、私ノ言フ意味ハ、生活ノ苦痛ヲ感ゼシメナイ所ヲ、出來ルダケ一般ニ及ボサナケレバナラナイ、ソレハ其土地ノ經濟狀態ガドウアラウトモ、或ハ其土地ノ生産費ガドウアラウトモ、同ジ値段デ米ヲ買上ゲテヤルトカ云フヤウナ、朝鮮米ト内地米トガジ同ヤウナモノデナケレバナラスト云フヤウナ意味デ、言ッタノデアアリマセヌ、農村ノ苦痛ヲ緩和スルト云フヤウナ點ニ於テ、吾々ハ一視同仁ニ見テ、出來ルダケ生活ノ安定ヲ與ヘルヤウニシナケレバナラヌ、斯ウ云フ意味ノコトヲ言ッタデデアリマス、ソレカラ朝鮮ノ米ニ關スル基礎調査ハ、實ハ遺憾ナガラ今日マデ十分ナルモノガ出來

テ居ナイノデアリマス、ソレデドウシテモ、是カラ朝鮮米ノ自治的統制ヲ行ヒマス爲ニモ、基礎調査ガナクテハイカスト思ヒマシテ、實ハ今八年度ノ豫算ニ、其基礎調査ヲ計上致シマシテ、御協賛ヲ願フコトニナッテ居ルノデアリマス、臺灣ニ對シテモ亦同様ナ必要ヲ認メテ居ルヤウナ次第デゴザイマス

○河野委員 私ノ質問致サントスル所ハ、朝鮮、臺灣ハ内地ニ比シテ非常ニ生産費ガ安い、是ハ單ナル農民自體ノ生活様式ガ違フノミナラズ、政府ノ行政ノ點ニ於テ、生産費ニ付テ、非常ニ恩惠ヲ受ケテ居ル、例ヘバ煙草ノ値段ハ内地トハ違フ、其他公租公課ノ點ニ於テモ、内地トハ朝鮮、臺灣ハ非常ニ安イト云フコトニナッテ居リマシテ、同一ノ立場ニ置カレテナイ農民ヲ、由ッテ來ル所ノ米價ヲ、朝鮮、臺灣ト内地トヲ同様ニ取扱ハウト云フ所ニ根本ノ矛盾ガアル、然ルニ從來動モスレバ、朝鮮、臺灣ハ内地トノ別箇ノ統制方法ニ於テ、別箇ノ米穀政策ノ見地ニ立ッデ、統制ヲ行ハントスル時ニ、ソレヲ差別待遇デアルト云フ觀念ヲ有タレルコトガ、非常ナ誤デアルト思ヒマス、同時ニ拓務大臣ハ只今ノ土井委員ノ質問ニ對スル御答ニ、陛下ノ赤子ニ對シテハ同一ニ取

扱フ考デアルト云フコトヲ言ハレマシタガ、是ハ本質的ニ吾々ト所見ガ違フノデハナイカト云フ心配ヲ有ツノデアリマス、少クトモ朝鮮米、臺灣米ハ、今日ニ於テハ一千万石以上ノ數量ヲ内地ニ移入ラシマシテ、之ニ依ッテ内地ノ農民ノ受ケル所ノ苦痛ハ重大ナノデアリマス、而モ先程申上ゲマシタ通り、生産費ニ於テ多大ノ懸隔ガアル、多大ノ懸隔ガアル以上ハ、共ニ競争スルコトハ内地ノ農民ニハ出來ナイノデアリマス、デスカラ朝鮮、臺灣米ハ別個ノ統制ノ方法ヲ執ラナケレバナラスト云フコトガ、内地全農民ノ要求デアリマス、全國ノ農會ヲ始トシマシテ、過般ノ米穀調査委員會ニ於キマシテモ、吾々ノ先輩ノ各委員カラモ主張セラレタ、ソレヲ朝鮮ニ於ケル全道ノ國民大會ト申シマスカ、其處デ反對ガ起ツタ、其反對ガ起ツタ時ニ、朝鮮總督ガ率先シテ、朝鮮ノ米ハ是々デ内地トハ違フ、是々デ有利ニ置カレテ居ルノデアルカラ、別個ノ取扱ヲスルコトハ當然デアルト云フコトヲ、十分朝鮮道民ニ知ラシメナイカラ、斯ウ云フ誤解ヲ受ケルノデアリマス、而モ其調査ガ無い、調査ガ無ケレバ、先ヅ以テ第一トシマシテ調査ガアツテ、一般吾々ガ具體的ニ斯ウダラウ、常識的ニ斯ウダラウト云フ所ニ、先

ヅ第一ノ步調ヲ決メテ置イテ、然ル後ニ、調査ヲシテ是々ノ結果ヲ得タカラ、斯ウ云フ施設ヲ行フト云フコトニナラナケレバナラスト思フノデアリマス、ソレヲ自己ニ何等ノ調査ナシニ、人ノ決メル政策ニ反對シテ、朝鮮ニ對シテハ獨自ノ政策ヲ執ルト云フコトハ、誤リモ甚ダシイト思ヒマス、之ニ對スル拓務大臣ノ御所見ヲ承リタイ

○永井國務大臣 私ノ考ヘテ居リマスコト

ト、河野君ノ考ヘテ居リマスコトハ、大體一致シテ居ルト私ハ思ヒマス、私ノ説明ガ不十分デアツタ爲ニ河野君ガ誤解ヲサレタカモ知レマセヌガ、私ハ朝鮮ノ爲ニ内地ノ農村ヲ犠牲ニスルト云フヤウナ事ハ、毛頭考ヘテ居ラズ、ソレカラ内地ノ農民ノ苦痛ヲ顧ミナイデ、朝鮮ノ要求ノミニ耳ヲ傾ケルト云フヤウナコトハ、決シテ考ヘテ居リマセヌ、日本ノ農村ノ生活ヲ安定シテ日本ノ農民ノ勞苦ニ報ユル爲ニ、出來ルダケ米價ヲ維持シテ行カナケレバナラス、其點ヲ考ヘルコトハ私ハ河野君ト同ジト思ヒマス、ソレニ付テ朝鮮カラノ移入米ガ非常ニ多量ニナリ過ギテ、内地ノ米價ヲ賣リ崩ス危險ガアル、ソコデ之ヲ統制シテ行カナケレバナラス、ソレモ私ハ全然同感デ、其統制ノ必要ヲ認メテ居ル、ソレカラ又下ノ程度ニ

之ヲ統制シテ行カナケレバナラスカト云フ、其數量ナドノ點ニ於キマシテハ、農林省モ今日ハ、最近ニ米穀法ノ改正ニ依ッテ、農林省自身、朝鮮ノ米ノ買上ヲサル、ノデアリマス、其農林省ノ計算ト云フモノヲ十分基礎ニシマシテ、協力シテ、其統制ノ數量ナドモ決定シテ行クノデアリマス、大體ニ於キマシテ其根本思想ハ、私モ河野君モ全然變リガナイト思ヒマス、唯其統制ヲシテ行クト云フ場合ニ、内地ノ農村ヲ政府ガ統制シテ行クヤウニ、朝鮮ハ又朝鮮ガ自治的ニ之ヲ統制シテ行ク、サウシテ自治的ノ統制ハスルケレドモ、内地ノ要求トビッタリト適合スルヤウナ程度ニ、之ヲ統制シテ行クト云フコトデアレバ、朝鮮人ニ自分達ハドウモ内地ノ犠牲ニナツテ居ルト云フヤウナ誤解モ惹起サズ、又吾々ハ差別待遇ヲサレテ居ルト云フヤウナ誤解モ與ヘナイデ、心持好ク内地ノ要求ニ適合シタ米穀政策ヲ樹立シテ行ケルデハナイカ、斯ウ云フヤウニ私共ハ考ヘマシテ、ソコデ朝鮮自體モ内地デ決定サレタ方針ニ基イテ、サウシテ其米穀ノ統制ヲ行ツテ、殊ニ内地ニ對シテ米價ノ賣崩シヲシナイヤウニ、出來ルダケ供給ヲ統制シテ行ク、斯ウ云フ方針デアリマシテ、此一視同仁ト云フ意味ハ、内地ノ農民

ノ苦痛ヲ出來ルダケ緩和スルト同ジヤウニ、朝鮮ノ農民ノ苦痛ヲモ出來ルダケ緩和シナケレバナラス、斯ウ云フヤウナ意味デ一視同仁デアリマス、生産費モ米ノ買上値段モ、全部同ジニシナケレバナラスト云フヤウナコトヲ、意味シテ居ルノデハナイカラ、其土地々々ノ生活狀態ニ應ジテ、生活ノ安定ヲ得ルヤウナ風ニ、其生活ノ苦痛ヲ免レシムル爲ニ、同ジヤウナ同情ヲ以テ行キタイ、斯ウ云フ意味デアリマス

○河野委員 サウ致シマス、本法案ガ制定ト申シマスカ、成案セラレマス時ニ、政府ノ一部ニ於テハ朝鮮、臺灣米ニ對シテ、モウ一步此統制法案ヨリ徹底的ナ政府ノ管理統制ヲヤラウト云フ意見ガ強カッタノニ對シテ、拓務省ハ反對セラレタ事實ハアリマセヌデスカ

○永井國務大臣 拓務省トシテハ、其米穀調査委員會ヲ左右スルト云フヤウナ、何ニモ努力ヲシテ居リマセヌ、米穀調査委員會ハ色々方面カラノ人ガ集ッテ居リマシテ、其米穀調査委員會デ決定ニナリマシタコトハ、十分尊重シテ行カナケレバナラス、斯様ニ考ヘテ居リマシテ、其決定ガ發表ニナリマシテ、主務省カラ送付ヲ受ケマシタノデ、ソレニ適應スルト云フ意味デ、今朝鮮

ニ於キマシテ米穀統制ニ協力スル方法ニ關シマシテモ、考慮ヲ致シテ居ル次第デゴザイマス

○河野委員 サウ致シマス、米穀調査會ハ今ノ御話デ分リマシタガ、其後農林、拓務兩省ノ間ニ於テ、拓務省ガ反對セラレタ事實ハアリマセヌカ

○永井國務大臣 別ニ農林省ノ要求ニ反對シタト云フ事實ハアリマセヌ、時ニ協力ヲシテ、色々ナ問題ニ相談ヲシテ居リマスケレドモ、別ニ反對ヲシタコトハアリマセヌ

○河野委員 兎ニ角巷間傳フル所ニ依リマス、農林省ガサウ云フ統制ノ法案ヲ持ッテ居ッタ、サウシナケレバ本當ノ内地ノ米穀對策ハ、實行出來ヌト云フ見地カラ、サウ云フ意見ヲ持ッテ居ッタガ、拓務省、朝鮮總督府、臺灣總督府ノ反對ニ遭ッテ、其點ガ出來ナカッタト云フコトヲ傳ヘテ居ルノデアリマス、其爲ニ一般農民ハ非常ニ農林省ノ優柔不斷ヲ罵ルト同時ニ、拓務省、朝鮮總督府ニ對シテ怨ミヲ有ッテ居ルノデアリマス、私ハ更ニ進ンデ然ラバ第一ニ我が日本全領土ヲ通ジテノ米穀政策ヲ實行スルニ當ッテ、態々米穀ノ自治的統制ヲヤルト云フ必要ハ、何處カラ來ルカと思フノデアリマ

ス、殊ニ朝鮮米ノ如キハ内地ノ市場ト重大ナル關係ヲ持ッテ居ルノデアルカラ、別ニサウ云フ二重ノ必要ハナイデハナイカト思ヒマスガ、之ニ對スル御意見ハドウデスカ

○永井國務大臣 米穀調査會議ニハ各方面カラ代表者ガ出マシテ、夫々忌憚ナキ意見ノ交換ヲシタト思ヒマス、サウシテ出來上リマシタ其結果ニ對シマシテハ、私共ハ大體ニ於テ、其方針ヲ守ッテ行キタイト、斯様ニ考ヘテ居リマス、農林省、拓務省ノ間ニ於キマシテハ、此米穀問題ニ付キマシテハ、何時デモ隔意ナキ協議ハ遂ゲテ居リマス、併シ農林省ガ優柔不斷デアリ、拓務省ガ農民ニ對シテ同情ガナイト云フヤウナコトヲ考ヘル人ガアッタラ、ドウカソレハ誤解ダカラ、誤解ノナイヤウニ一ツ能ク御話ヲ願ヒタイト思ヒマス、サウシテ此内地、朝鮮、臺灣、夫々米ノ生産ノ狀態モ、周圍ノ經濟事情モ大分違ッテ居ルノデアリマス、是等ノ特別ナ經濟事情ヲ持ッテ居ル夫々ノ區域ニ於テハ、各々ノ自治的ニ米ノ統制ヲヤラウト云フコトハ、其委員會デ決ッタノデアリマシテ、私共モ其決定ヲ基礎トシテ、立案ヲショウト云フ考デアリマス、大體サウ云フ方針デアリマシテ、先程申上ゲマシ

タヤウニ、内地ノ農民ノ窮狀ニ對シマシテハ、衷心カラ私共ハ同情ヲシテ、微力ナガラ其苦痛カラ解放スルコトニハ、努力ヲ致シテ居ル次第デアリマス

○河野委員 ソコデオカシナコトハ、先日カラ農林大臣始メ、各農林省ノ政府委員ノ御答辯ニ依リマスルト、只今審議中ノ米穀統制法案ニ依ッテ、朝鮮ノ出廻リ米ヲ季節的ニ調節スル爲ニ、買上ゲヤルト云フ御説明ヲ度々承ルノデアリマス、サウ致シマスルト、此統制法案ニ依ッテ朝鮮米ヲヤッテ行クンダト云フコトデ、朝鮮、臺灣米ニ付テハ、此法案ノ中ニ色々政策的ニ加味セラレテ居ルヤウニ思フノデアリマス、ソレガ僅カ此法案ノ審議中ニ、一方拓務省ニ於テ、更ニ別個ノ朝鮮米ニ對スル自治的統制案ヲ御作リニナルト云フコトハ、一體此法案ヲ作ル時ニ其話ハアッタノデアリマス、ナカッタノデアリマス

○永井國務大臣 只今御話ノヤウニ、米穀法ノ改正ニ伴ヒマシテ、農林省自ラ朝鮮ノ内地デ米ノ買上ゲヲ致シテ居ルノデアリマス、併シ之ニ伴フテ朝鮮自體ニ於テモ、自ラ出來ルダケ米ノ供給ヲ調節スル機關ヲ設ケテ置イテ、其農林省ノ努力ト相俟ッテ、一層其效果ヲ擧ゲルヤウナ設備ガ必要ダ、斯

ウ云フヤウニ考ヘマシテ、不日ソレニ對スル經費ヲ計上シテ御協賛ヲ願フ、斯ウ云フ趣旨ナノデゴザイマス

○河野委員 今回ノ米穀統制法案ハ、我國ノ米穀法ノ劃期的根本的ノ法案ダト云フコトデ、農林大臣カラ相當自慢ヲ聞カサレタノデアリマスガ、其法案ノ審査中ニ、ソレデハマダ遺憾ナ點ガアルカラ朝鮮ハ別箇ノモノヲ拵エテ、朝鮮ダケデヤルト云フナラバ、此法案ノ自體ガ朝鮮米ニ對シテ、遺憾ナ點ガアルト云フコトヲ裏書シテ居ル、サウシマス、此法案ヲ出ス時ニ、同時ニ朝鮮ニ於テモサウ云フモノガ出ナケレバナラヌト思ヒマス、所ガ此法案ノ審議中ニ偶、拓務大臣ガ御出席ニナッテ、只今ノ御意見ヲ伺フノハ始めテアリマス、サウ致シマス、此法案ハ臺灣デモ何カ足りナイ所ガアリハセヌカト云フヤウナ氣持ガ致シマス、ナゼナラバ、此法案ヲ作ル時ニ、將來ノコトモ考ヘテ、此法案ヲ議會ヘ提案スル時ニ、内地ハドウスル、朝鮮臺灣ハドウスルト云フコトヲ考ヘルノハ當然デアリマス、是ハ一例デアリマスガ、米トハ多少趣キガ違フカモ知レマセヌガ、最近斯ウ云フコトガアル、例ヘバ船舶ノ輸入ヲ管理スル問題ニ付キマシテ、遞信省ガ日本ノ船舶ハ遞信

省ガ勝手ニヤルト言フト、拓務省ハソレニ

ハ賛成セヌ、關東州ダケハ別ノ立場ニ置イ
テ置ケト云フヤウナコトデ、同ジ政府ノ閣
僚ノ中ニ於テ、拓務大臣ガ別ナ主張ヲセラ

レル、ソレガ好イカ悪イカハ別デアリマス
ガ、サウシタ意味デ、米ノ法案ニ當ッテモ、
農林省ガ斯ウ云フ法案ヲ出ス時ニ、拓務省

ガソレニ反對スルナラバ、ナゼ此法案ノ中
ニソレヲ入レナカッタカ、此前ノ六十三議
會ノ際ニモ、朝鮮米ニ對シテハ特ニ斯ウ云

フモノヲヤルト云フコトヲ農林省カラ説明
ニナリ、政府カラ提案ニナツタ、而モ今回ハ
今迄ノ現行米穀法ヲ一切清算シテ、新法ヲ

樹立スルト云フ際ニ當ッテ、又ソレニ枝葉ヲ
付ケルヤウナモノヲ朝鮮總督府デヤルト云
フコトハ、吾々トシテ了解ニ苦シムノデア

リマス、其間ニ一貫シタ政府ノ米穀政策ト
云フモノガ、確立シテナイヤウニ思ヒマス
ガ、如何デスカ

○永井國務大臣 只今私ノ申上ゲマシタ朝
鮮ニ於テ農林省ノ買上ト相俟ッテ、一層統制
ノ效果ヲ擧グベク施設ヲスルト云フコトモ、

此度ノ米穀調査會ニ於テ決定サレマシタ、其
大キナ内地外地ヲ通ジテノ米穀統制法ノ、
其決定ニ依ッテ居ルノデアリマス、ソレハ
内地外地ヲ通ジテ統制ノ實ヲ、最モ效果的

ニ擧ゲヨウト云フコトニ決定ヲシタノデア

リマスカラ、其決定ニ基イテ從來行ハレテ
居ル米穀ノ統制ヲ出來ルダケ徹底的ニ、效
果的ナラシメタイト云フコトデ、其補助機

關ヲモ設ケルト云フコトニナツタノデアリ
マス、ソレト相俟ッテ朝鮮自體ガ自治的ニ米
ヲ統制シテ行ク機關ヲ作ルト云フコトハ、

全體トシテノ大キナ米穀統制策ニ、私ハ何
ノ矛盾モナイト云フヤウニ考ヘマス
○河野委員 更ニ質問ヲ進メマシテ、近日

中ニ朝鮮總督府デ御作りニナツテ出スト云
フ米穀法ノ最低價格ハ、朝鮮ノ生産費ヲ基
準トナサイマスカ、如何デアリマスカ

○永井國務大臣 只今申上ゲマシタ朝鮮ノ
自治的統制ニ關スル新シイ經費ノ要求ハ、
今關係ノ者ノ間ニ於テ調査シテ居リマス、

大體ニ於テソレヲ買上ゲル基準ハ、從來農
林省ガ朝鮮ニ於テ買上ゲテ居ラル、ノト、
同ジ方針ニ依ルコトニナリマス

○北島政府委員 一寸私カラ大臣ノ御説明
ヲ補足シテ申上ゲマス、現在朝鮮米ノ自治
的統制ニ付キマシテ、立案中ト大臣ガ御話

ニナリマシタノハ、別ニ朝鮮ノミニ付テノ
米穀ノ統制ニ關スル法律案ヲ拵ヘヨウト云
フ趣旨デハゴザイマセヌデ、從來カラ御承
知ノ通りニ、米穀法以外ニ朝鮮ニ於キマシ

テハ、倉庫ヲ拵ヘテ貯藏ヲ獎勵スルトカ、

或ハ金融疏通ノ途ヲ講ジテ、出來ルダケ内
地ニ移入ガ殺到スルノヲ防止シヨウト云フ

ヤウナ意味ニ於テ、自治的ノ統制ヲ現ニヤ
テ居ル、サウシテ今度米穀統制法ガ出マシ
テ、過去ニ於テモ矢張從來ノサウ云フ倉庫

ノ施設トカ、或ハ低利資金ノ供給トカ、サ
ウ云フヤウナ統制法以外ノ、所謂法律ノ關
係ヲ離レタ意味ニ於テノ自治的ノ統制ヲ、

更ニ徹底的ニ行ヒタイ、其意味ニ於テ來年
度ノ追加豫算ニ計上シタイト云フ意味デ、
現在計畫シテ居リマス

○河野委員 今ノ政府委員ノ御答デ一寸
違ッテ來タノデアリマスカ、サウ致シマス
ト、朝鮮總督府ガ今計畫中ノモノハ、要ス

ルニ出廻リヲ圓滑ニスル、季節的ノ出廻リ
ヲ圓滑ニスル源ノ統制ヲヤルノデアッテ、價
格ノ調節ヲヤルトカ、成ベク一時ニ出廻ッテ

出ルノヲ調節スル、價格ヲ調節スル、資金
ヲ圓滑ニ融通シテヤラウト云フヤウニ、朝
鮮農民ノ救済ヲスルノガ目的デアッテ、内地

ヘ來ル米ノ生産ヲ統制スルトカ、内地ヘ來
ル絕對數量ノ統制トカ云フコトハ、何ニモ
加味シテ居ラヌヤウニ承ルノデアリマス、
サウ致シマス、話ハ又元ヘ戻ッテ伺ハナ
ケレバナラヌコトニナルノデアリマスカ、

朝鮮米ハ今ノ政府委員ノ御話デスト、生産

費ト餘リ關係ガナクナッテシマフ、朝鮮農民
ガ勝手ニ作ッタモノヲ、勝手ニ一時ニ賣出シ

テハ値方下ガル、内地ヘ一時ニ殺到スレバ
内地ノ米穀市場ヘ直チニ影響スル、ソレデ
同一ナ歩調ヲ取ラセル爲ニ、ドウ云フヤウナ

コトヲスルトカ云フヤウナコトニ付テハ、
非常ニ效果ガ少クナル、サウナリマス、
生産費云々ト云フ議論カラハ少シ道ガ離レ

ルノデアリマスカ、私ノ一番懸念致シマス
コトハ、朝鮮米ノ生産費ト内地ノ米ノ生産
費トハ、ソコニ非常ナ喰違ヒガアル、朝

鮮ハ米ノ生産費ガ色々ナ條件デアイ、其安
イ條件ノ米ヲ内地ヘ七百萬モ、多イ時ハ八
百五十萬モ持ッテ來ルノデハ、内地ノ農民ニ

ハ、一寸是ト競争スルコトハ出來ナイ、絶
對ニ出來ナイ、ソレデ其朝鮮米ガ朝鮮海峽
ヲ渡ル時ニ、生産費ノ喰違ヒヲ調節シナケ

レバ、内地ノ農民ハ之ニ依ッテ脅威ヲ受ケ
ルト云フコトガ重大ナル問題デ、是ガ今日
ノ私ノ質問ノ目的デアリマス、如何ニシテ

拓務大臣ガ之ヲ處置ナサルカ、若シ此事實
ヲ御認ニナルナラバ——朝鮮ト内地トハ生
産費ガ、先程申上ゲマシタヤウナ理由デ、朝
鮮ガ安イコトハ事實デアル、其安イ朝鮮ノ
米ガ、内地ノ販賣米ガ三千二百萬石、ソレニ

對シテ朝鮮臺灣カラ一千萬石ノ米ガ、生産費ノ非常ニ安イ、優秀ナル競争條件ヲ有ッテ居ル米ガ、内地へ來タ時ニ、内地ノ農民ノ受ケル苦痛ヲ、ドウシテ緩和シテヤルカト云フコトニ付テ、拓務大臣トシテ何等カノ御考ヲ有ッテ居ラレルカ、ドウカ、一ツ御伺シタイト思ヒマス

○永井國務大臣 只今河野君ガ御話ニナリマシタヤウニ、朝鮮米ノ多量ナル過剰米ノ移入ハ、ハ内地ノ米ヲ賣崩ス危險ガアルト思ヒマス、併ナガラ内地デ缺乏ヲ感ジテ居ル程度ノモノヲ補フト云フダケデアレバ、内地ノ農村ニ打撃ヲ與ヘルコトハナイト思ヒマス、其打撃ヲ與ヘナイ程度ニシカ移入ヲシナイ、其程度ニ移入ヲ調節シテ行クト云フコトハ、絶エズ内地ニ於ケル農村全般ノ生活状態ニ注意ラシテ居リマスノデ、農林省ト協議ヲ遂ゲツ、之ヲ行ッテ行ク譯デゴザイマス

○河野委員 只今ノ御答辯デ一應ハ宜イヤウナ氣持ガ致シマスガ、マダ根本ガ違フ、季節ノ調節ヲヤッテモ、絶對數量ニ於テ朝鮮デ自治統制ヲヤッテ、若シ内地ノ米ガ餘レバ朝鮮カラ外國ニ賣ッテシマウト云フナラ、吾ハ諒承スルノデス、所ガ朝鮮デ豐作ダ、今年ハ九百萬石内地ニ持ッテ行ケル、而モ朝

鮮米ハ益増産ノ豫想ガサレルト同時ニ、内地ノ米ニ對シテ非常ニ優秀デアアル、朝鮮米ハ内地米ヨリモ非常ニ優秀デアアルト云フコトハ、今日一般ノ認ムル所デアアル、其數量ニ於テモ只今申上ゲマシタ通り、絶對數量ニ於テ七百萬石、八百萬石モ内地ニ移入スルコトガ出來ル、而モ其實ハ優秀デアアル、其上内地ノ生産費ニ對シテ、其生産費ガ非常ニ低廉デアアル、而モ其生産費ノ低廉ナルコトハ、農民自體ノ生活状態ニ依ルノミデナク、公租公課其他政府ノ行政機構ト云フコトカラ、朝鮮米ノ生産費ガ安クナッテ居ルト云フコトニナルナラバ、内地ノ農民ハ朝鮮ノ農民ト同等マデ、税金ヲ下ゲテ呉レ、政府ニ對シテ公租公課ヲ下ゲテ呉ルト云フコトノ要求ヲシナケレバナラスノデアリマス、之ヲシナケレバ寧ロ一視同仁、内地ノ農民ト朝鮮ノ農民ト同等ノ立場マデ考ヘテヤルト云フコトニナラナケレバナラスト思フノデアリマス、是ガ根本デアアル、一般ノ輿論ト致シマシテハ朝鮮、臺灣米ニ對シマシテハ政府ガ管理ヲスル、政府ガ管理シテ朝鮮海峡ヲ渡ッテ來ル時ニ、多少ノ値額ヲ付ケテ呉ルト云フノガ一般ノ輿論デアリマス、然ルニ只今ノ御答辯ニ依ルト、月別平均ニハ何等關係ガナイノデアリマス、朝鮮

總督府ガ朝鮮米ノ今年ノ作柄ハドウダト云フコトヲ發表スルト、内地ノ米穀市場ニ響クノデアリマス、月ニ幾ラ入ッテ來ルト云フコトガ、米穀ノ市場ニ響クノデアアル、今年ノ收穫ハドウデアルト云フ絶對數量ガ、非常ニ内地ノ米ノ相當ニ影響ヲ及ボスノデアリマス、ソコデ内地米ニ對シテ朝鮮米ガ運賃其他ニ對スル差額ガアルト云フナラ兎モ角、他ニ差額ガアルナバ、内地ノ農民ノ受ケル壓迫ハ、當然之ヲ緩和シナケレバナラス、之ニ對シ拓務大臣ト致シマシテ、内地ノ農民ノ受ケル壓迫ニ對シ、朝鮮ニ對シテ適當ノ施設ヲ行フ必要アリト御認メニナラヌカドウカ、更ニ拓務大臣ノ御答辯ヲ求メマス

○永井國務大臣 只今河野君ノ御話ニナリマシタヤウニ、從來ハ季節ノ調節ヲスル場合ニ於キマシテモ、其效果ガ十分ニナカッタト云フコトハ事實デゴザイマス、是ハ朝鮮ノ一部ニ於ケル貯藏ノ計畫、其他ノ點ニ於テ非常ニ不完全ナ所ガアッタ爲ニ、十分ニ效果ヲ擧ゲルコトガ出來ナカッタノデゴザイマス、其點ヲ考慮致シマシテ、政府ハ此度朝鮮ノ全部ニ互リマシテ、貯藏其他ノ方針ニ付テ徹底シタ計畫ヲ樹テマシテ、サウシテ其調節ノ效果ヲ十分擧ゲ得ルヤウニ、

此度其準備ヲ致シテ居ル次第デアリマス、此貯藏ノ方法ニ付キマシテノ計畫ハ、其經費ヲ計上致シマシテ、御協賛ヲ願フ場合ニ、何レ又詳シク御審議ヲ願フコトニナラウト存ジマス

○三善委員 只今拓務大臣ト河野君トノ質問應答ニ依リマシテ、大體ハ分リマシタガ、元來此内地米ヲ壓迫ヲスルノハ、朝鮮米ガ移入セラレルコトガ、大ナル原因デアアルノデアリマシテ、先刻ヨリ拓務大臣ガ頻リニ陛下ノ赤子デアアルガ故ニ、一視同仁デ行カナケレバイカナイ、朝鮮及臺灣ニ對シテ差別的待遇ヲ爲スコトハ出來ナイ、斯様ナ感情ヲ持タセルコトガ非常ニ統治ノ上ニ誤デアルト云フヤウナ、御意見ノヤウデアリマシタガ、私ハ成程此御意見ハ御尤ト思ヒマスルガ、私ハ現在ノ情況ニ於キマシテハ、内地ノ米價ハ常ニ朝鮮米ノ移入ニ依ッテ壓迫ヲ受ケ、脅威ヲ感ジテ居ルヤウナ状態デアリマシテハ、内地ノ生産ニ從事スル所ノ農民ハ、朝鮮ノ爲ニ、言ハバ非常ナ苦痛ニ陷ッテ居ルノデアリマシテ、差別的待遇ト申シマスルナラバ、米穀ニ限ッテ却テ内地ガ、朝鮮ノ爲ニ差別的待遇ヲ受ケテ居ルノデハナイカト、私ニハ感ゼラレルヤウナ點ガアリマス、ソコデドウシテモ内地ノ農民ヲ救済

此度其準備ヲ致シテ居ル次第デアリマス、此貯藏ノ方法ニ付キマシテノ計畫ハ、其經費ヲ計上致シマシテ、御協賛ヲ願フ場合ニ、何レ又詳シク御審議ヲ願フコトニナラウト存ジマス

スル上ニ於テ、根本的政策ヲ樹テナケレバ
ナラス、其爲ニ米穀統制案ガ提案セラレテ

カト云フ點ガ、私ノ頗ル疑義ヲ有ッテ居ル點
デアアルデアリマス

シ、又吾々ガ聽カントスル點デアアルト思ヒ
マス、只、季節的調節ヲスルカラ、ソレデサ

コトニ努メテ居ル次第デゴザイマス、ソレ
ト同時ニ朝鮮ノ米ガ内地ノ米ト競争ヲスル

アルノデアリマスガ、先ノ拓務大臣ノ御答辯
ニ依リマスルト、朝鮮ニハ朝鮮ニ別個ニ調節

モウ一ツ御尋シマスノハ、季節的ノ調節
ノコトデアリマスルガ、朝鮮ニ相當ノ玄米

ウ云フ心配ハナイト云フヤウナ一片ノ想像
ニ依ッテ、是ガ解消シ得ラルベキモノデハナ

ト云フヤウナコトニ、ナラナイヤウニスル
コトガ大切ダト私モ思ヒマス、生産費ノ廉

ノ機關ヲ設ケルト云フヤウナ、御意見モアッ
タヤウデアリマスガ、是ハ機關デナクテ、倉

ハ、ドウシテモ内地米ヲ壓迫スルコトハ、是
ハ免レナイト思フノデアリマス、先ニ河野

イト思ヒマスガ故ニ、此點ニ付テ特ニ如何
ナル御考ヲ御持合セニナルカラ、承知致シ

テ行キマスレバ、ソレハ非常ナ打撃ヲ與ヘ
マスカラ、競争スルコトノナイヤウニ、之

補足ニナツタヤウデアリマスガ、私ハ別個ニ
自治的機關ヲ御設ケニナルノデアアルカ、唯

君ガ言ハレタ通りニ、之ヲ内地ニヤラズシ
テ、或ハ外國ニデモ賣出スナラバ、ソレハ

至極同感デゴザイマス、私モ其趣旨デ話ヲ
シテ居ル次第デアリマス、説明ガ不十分デ

コトガ大切デアアル、斯ウ云フ風ニ私ハ考ヘ
テ居ルノデアリマス、或ハ其米ノ一部分ヲ

内地ノ米穀統制案ニ對シテ、其統制ノ效果
ヲ舉グル爲ニ、是ガ統制機關トシテ倉庫其

其壓迫ヲ受ケルコトモナイノデアリマスケ
レドモ、是ガ内地ニ流込シテ來ル限りニハ、

アツカモ知レマセヌガ、朝鮮人ニ内地人ノ
犠牲ニナッデ居ルト云フヤウナ誤解ヲ與ヘ

外國ヘ出スト云フ必要ガ起ッテ來レバ、十分
其點ニ對シテモ努力ヲシナケレバナラスノ

他ノ設備ヲナサルニ止マルノデアアルカ、其
點ヲ御伺ヒ致シテ見タイト思フノデアリマ

ドウシテモ内地ノ米ノ價格ヲ壓迫スルト云
フコトハ、是ハ免レナイノデアリマス、然ル

ガ朝鮮ノ農民ノ犠牲ニナルベキモノデナイ
ト云フコトハ當然ノコトデアリマス、サウ

デアリマス、又私先程機關ト申シテ、説明
ガ甚ダ不十分デアリマシテ、十分ナ御了解

補助機關トシテ御設ケニナルト云フコトニ
ナリマスレバ、今米穀法ノ中ニ、需給特別

生産費ノ點ニ付キマシテ、内地ト朝鮮トハ
非常ニ違ッテ居リマス、朝鮮ガ安イコトハ、

シテ今日内地ノ農民ハ非常ナ生活苦ヲ體驗
シテ居ルノデアリマシテ、之ヲ出來ルダケ

ヲ得ナカッタト思ヒマスガ、只今御話ノ通り
米穀法運用ニ付テノ補助機關トシテノ貯藏

會計ノ金額ヲ御増シ下サッテ、サウシテ是ガ
爲ニ朝鮮ニ於テ、或ハ穀ノ貯藏及其他玄米

是ハ申スマデモナイコトデアリマス、常識
カラ考ヘマシテモ、御分リニナル所デアリ

解放スルト云フコトハ、私モ痛切ニ其必要
ヲ感じテ居リマス、此度ノ米穀統制法モ、其

ノ方法、或ハ金融ノ方法ト云フガ如キモノ
ヲ、十分效果的ニ計畫シナケレバナラス、

ノ貯藏等ノ爲ニ、倉庫及其他ニ對シテ相當
ノ費用ガ計上致シテアルヤウデアリマスル

マス、此違ッタル所ノ生産費ヲ有ッテ居ル内
地ト朝鮮トヲ同様ニ取扱ヒ、朝鮮米ガ内地

點ニ於テ從來ヨリハ一層ノ效果ヲ舉ゲ得ル
ト云フコトヲ私共ハ信ジマシテ、其效果ヲ

スウ云フコトヲ先刻申上ゲタノデアリマ
ス、其貯藏ノ方法、又金融ノ方法ヲ講ズル

ガ、此米穀特別會計ニ於テ要求サレテア
ル所ノ此金額ト、朝鮮ニ新ニ別ニ倉庫其他

ニ流レ込ムト云フコトニナレバ、相當内地
米ノ價格ニ影響ヲ及ボシテ來ルコトハ、申

舉ゲルコトノ爲ニ協力シタイト存ジテ居リ
マス、又肥料ノ如キモノデモ、出來ルダケ

ニ付テハ、其財源ヲ何處ニ仰グカト云フコ
トデアリマシタガ、此點ニ付テハ先程モ申

ノモノニ對シテ必要ノ金額ヲ要求セラレル
ト云フコトニナリマスレバ、二重ニナリハ

ニシテ緩和セラレルノデアアルカト云フノ
ガ、河野君ノ質問ノ要旨デアアルト思ヒマス

地ニ向ッテモ出來ルダケ其方針ヲ確立スル
地ニ向ッテモ出來ルダケ其方針ヲ確立スル

上ゲタヤウニ、準備調査ヲ致シテ居ルノデ
アリマス、其大體ノ計畫ガ纏リ、其經費ヲ

シナイカ、此二重ノ機關ヲ置クト云フコト

ガ、河野君ノ質問ノ要旨デアアルト思ヒマス

地ニ向ッテモ出來ルダケ其方針ヲ確立スル

アリマス、其大體ノ計畫ガ纏リ、其經費ヲ

要求スルト云フ時ニナリマスレバ、其財源ニ付テモ十分御説明スルコトが出来ルト思ヒマス

○白神委員 今朝鮮ト臺灣ノ生産費ノ廉イモノヲ日本ヘ持ッテ來テ、日本ノ米ト競争サセタクナイノデアル、洵ニ結構ナ御説デアリマシテ、吾々モ左様ニ考ヘル、然ルニ元來朝鮮ノ米ハ多ク白米ニナッテ、内地ニ移入シテ來テ居ル、是等ノ點ニ付テハ如何ニ御考ニナッテ居リマスルカ、白米ニ於テノ貯藏ト云フモノハ、中々困難デアル、殊ニ朝鮮ノ問題ニ對シテハ、縷々皆サンカラモ御話ガアリマシタガ、私ハ特ニ臺灣米ノ問題、臺灣ハ御承知ノヤウニ米ガ一期米、二期米ト穫レマス、本年ノ如キハ百萬石以上増加シテ居ル、此米ガ三百萬石、三百五十萬石位内地ニ入ッテ參リマス、是ハ御承知ノ如ク特ニ軟質米ト云フモノガ多ク、サウシテ是ハ三箇月位シカ貯藏ニ堪ヘナイ、斯ウ云フ米ヲ臺灣ニ於テ貯藏サレル御意思ガアリマスカ、又今マデニ内地ニ白米或ハ玄米ノ儘デ參ッテ居リマスガ、丁度五月、六月ノ漸ク内地ノ米價が上ラントスル場合ヲ壓迫スルノハ、寧ロ朝鮮米ト云フヨリモ臺灣米デア、此臺灣ノ軟質米ガ東京、大阪ノ兩市場ニ於テ、非常ニ壓迫ヲ加ヘルト云フコト

ガ、最近ノ例デアリマス、斯ウ云フコトニ付キマシテハ、定メシ御考慮ニナッテ居ルコトト存ジマスガ、果シテ此朝鮮白米ニ對スル御考、白米ヲ移入スル所ノ狀態、ソレカラ貯藏ナサイマス大體ノ御方針、或ハ此臺灣米ノ軟質米ニ對スル移入及ビ貯藏、此御考ガ總督府ニ於デアリマスレバ、承リタイト思ヒマス

○北島政府委員 現在朝鮮總督府デ立案シ、吾々ノ方デ研究致シテ居リマスル案ノ内容ノ中ニハ、御話ノヤウナ白米ノ統制ト云フ問題ニ付キマシテモ、矢張何カ適當ノ方法ヲ講ジタイト云フ意味ノモノガ、含マレテ居リマス、唯何十分關係各省ノ諒解モ出來テ居リマセヌノデ、此際必ズサウ致シマスト云フコトハ、ハッキリ申上ゲル譯ニハ參リマセヌ、唯サウ云フコトハ十分考ヘテ居ルト云フコトダケヲ、御諒承ヲ願ヒマス、ソレカラ臺灣ノ方ニ付キマシテハ、矢張朝鮮米同様ニ、内地ノ出廻期ニ於テ移入ガ殺到スルコトヲバ、統制スル必要ヲ感じマシテ、目下具體的ノ計畫ニ付テ、調査中デアリマス、ソレダケ申上ゲテ置キマス

○土井委員 拓務大臣ニ御尋致シマシタ滿洲ノ米作ノ御答ガナガ、タノデアリマスガ故ニ、之ヲ御伺致シタイノデアリマス、即チ滿洲ニ對シテハ、飽迄モ移民ノ獎勵モシナケレバナラズ、又植民事業モ起サナケレバナリマセヌガ、且又朝鮮ノ人ガ内地ニ來ズシテ、滿洲ノ方ニ是カラ行クヤウニナルデアリマセウ、所ガソレ等ノ人ガ、米作ト云フコトニ重キヲ置キ、又特ニ内地カラ行ク移民モ、米作移民ト云フコトニナレバ、今デスラ此朝鮮、臺灣カラノ米ノ供給過剩ニ苦ンデ居ルノデアリマスガ、一層將來其憂ガ滿洲方面ニ於テ、多ク發生シヤシマイカ、ソコデ兎ニ角滿洲ノ米作、之ヲドウ御考ニナッテ居ルカ、謂ハ、此移民ハ米作移民ヲ御送りニナルノデアアルカ、又米作ニ非ズシテ畜産デアルトカ、何カ他ノ方面ノ移民ヲ多ク御送りニナル御考デアアルカ、是ガ御答ノ中ニナカッタノデアリマス、之ヲ先ヅ第一ニ御伺致シマス

ソレカラ第二ニ御伺致シタイノハ、河野委員カラ縷々御申述ベニナツタ通り、兎ニ角臺灣、朝鮮ノ米ト、内地ノ米トノ問題ハ、生産費ヲ如何ニ解決スルカ、此生産費問題ニ集ッテ居ルノデアリマス、ソコデ大臣ハ法制的統制ヲスルカノ如ク御説明デアリマシタガ、又段々御説明ヲ承リマス、法制的統制ハ致サズシテ、行政的ノ解決ニ依ッテ、詰リ一種ノ經濟的統制トデモ申シマスカ、

移入ノ統制ヲ圖ッテ、其按配宜シキヲ得タイ、斯ウ云フヤウナ御答デアリマシタ、併ナガラ私ノ考ヘマスルニハ、固ヨリ今日茲ニ米穀統制法ト云フモノガ出テ居リマスガ、將來ニ向ッテハ必ズ此臺灣、朝鮮方面ニ對シテモ、法制的統制ノ必要、即チ生産統制ヲ立テル、販賣統制ヲ立テル、價格ノ統制ヲ立テルト云フヤウナ點ニ付テモ、將來御心配ヲ願ハナケレバナラヌト思フノデアリマス、ソレガ第二ノ點デアリマス、之ニ對スル御所見ヲ承リタイノデアリマス

ソレカラ第三ト致シマシテ、只今田中委員、又白神委員ヨリサレマシテ、朝鮮米ノ白米、所謂加工米、此點ニ付テ色々御心配デアリマシタガ、私モ是ハ非常ニ憂慮スル次第デアリマス、只今拓務省並ニ朝鮮總督府ノ御話ノ如ク、特ニ玄米ノ移入統制ト云フコトニ重キヲ置カレテ居ルデアリマセウガ、今ヤ朝鮮ニ於テハ米ノ加工事業ト云フモノガ、非常ニ發達シテ居ルノデアリマス、是ニ於テ機械ナル商人ハ、統制法ノ裏ヲ潛ル方法トシテ、白米ノ移入ニ重キヲ置イテ居ル、サレバト申シテ政府ガ先ヅ此白米ノ如キ、久シク貯藏ニ堪ヘザルモノヲ、サウ季節的調節デ買取ルト云フコトモ出來ズ、非常ニ茲ニ缺陷ガ起ルデアラウ、故ニ

少クモ加工事業ニ對スル統制ト云フコト
ガ、朝鮮ニ對シテ必要ナリト私ハ感ズルノ
デアリマス、ドウ云フ風ニ統制スルカト云
ヘバ、一ツノ實例ヲ擧ゲテ言フナラバ、白
米ニ對スル加工事業ハ、許可ヲ受クルニ非
ザレバ出來ナイト云フヤウナ、何カ其方法
ヲ御立テニ相成ルニ非ザレバ、折角ノ此經
濟的解決ニ依リ、行政的解決ニ依リ、移入
統制ヲヤラウトサレテモ、茲ニ缺陷、茲ニ
裏アリト考ヘルノデアリマス、此三點ニ付
テ大臣或ハ事務當局ヨリ、親切ニ御答辯ア
ランコトヲ願ヒマス

○永井國務大臣 第一ノ滿洲ニ移住スル我
ガ農民ガ、主トシテ生産致シマスモノガ米
デアッテハ、内地ニ對スル影響モ重大ナルモ
ノガアルト云フ御考ハ、私モ全然同感デア
リマシテ、今日滿洲ニ出テ居リマスル我ガ
農民ニ對シテ、政府ガ指導シテ居リマス其
生産物ハ、大豆、小麥、又畜産ト云フガ如
キコトニ重キヲ置イテ居ルノデアリマシ
テ、現ニ今佳木斯ニ於テ實驗中ノ、所謂自
衛移民ノ如キモ、米ヲ生産スルコトニハナッ
テ居ラナイノデアリマス、將來モ大體ニ
於テ其方針デ、滿洲ノ農業ヲ營ムコトニナ
ルト思ヒマス
ソレカラ第二ニ今米穀法ニ基キマシテ、

朝鮮ニ行ハレテ居リマスル統制、之ヲ出來
ルダケ效果のナラシムル爲ニ、先程カラ申
上ゲマシタヤウニ、朝鮮自體ニ於キマシテ
モ貯藏ノ方法ヲ擴大シタイ、或ハソレニ伴
フ金融ノ方法ヲ講ジタリ致シマシテ、出來
ルダケ政策的ニ、經濟的ニ、之ヲ助成シ、
其統制ヲ補助シテ行クト云フコトニ、今日
ハ重キヲ置イテ居ルノデアリマス、ガ其根
本ハ米穀法ニ基ク朝鮮米ノ統制ヲ、出來ル
ダケ效果のナラシメタイト云フ點ニ存スル
ノデアリマシテ、基礎ハ矢張法制的統制ニ
存シテ居ル次第デアリマス、又第三ニ白米
ニ對スル點ニ付キマシテハ、先程カラ御話
ノ點ハ十分考慮スベキモノトシテ、政府ニ
於キマシテモ目下研究シテ居ル次第デゴザ
イマス

○池田委員 私モ今ノ問題ニ關聯シテ、政
府當局ニ少シ御伺ヒ致シタイト思ヒマス、
今回ノ統制案ガ從來ノ米穀法ニ比較シテ、
非常ニ強力ニナッテ居リマスコトハ、私等モ
其點ニ於テハ非常ニ良イ案デアルト思ッテ
居リマスガ、併シ今マデ論議サレ、御質問ニ
ナッテ居ル趣意ニ付テ、少シ他ノ方面カラ伺
テ見タイト思ヒマス、今回ノ米穀統制案ガ
日本ノ米穀需給ノ關係ニ付テ、成ベク力强
イ案ニシヨウト云フコトノ爲ニ出來タコト

ハ言フマデモアリマセヌ、併シ此案タルヤ
私等ノ見ル所ニ依レバ、百年ノ長計トハ申
シマセヌケレドモ、十年位ノ長計ノ積リデ
出來テ居ルダラウト思フノデアリマス、然
ルニ此米穀ノ需給ノ關係ハ、時ニハ不足モ
アリ時ニハ剩ルコトモアル、豐作ノ際ニハ
常ニ其點ニ付テ論議サレ、凶作ノ際ニハ又
其點バカリ論議サレテ居ルヤウナ、感ガア
ルノデアリマス、ソレデ私共ハ日本ノ五百
萬ノ農家ノ生活ニ付テ、安全點ヲ與ヘルト
云フ點ニ付テ、此統制法案ニ非常ニ敬意ヲ
表スルケレドモ、將來ノ見透シヲ致シマス
レバ、又需要者ノ方、若クハ日本ノ米ノ不
足ト云フ點ヲモ、矢張考慮ノ中ニ入レテ置
カナケレバナラスト思フノデアリマス、現
在ニ於テモ千萬石位ノ米ノ不足ガ日本ニア
ルト思ヒマスルガ、此問題タルヤ常ニ繰返
サレ、或ハ田中内閣ノ時分ニ於キマシテハ、
矢張人口食糧調節問題ト云フモノガ大ナル
問題ニナッタ、サウシテ人口剩ッテ食糧ガ足
ラスト云フ點カラ、常ニ論議サレテ居リマ
シタガ、幸ニ四五年來豐作續キデアリマシ
テ、サウ云フ聲モ止ンデ參リマシタガ、併
ナガラ又將來ノコトヲ考ヘマスレバ、矢張
其點モ内地ノ産米増殖ニ付テモ十分ノ、深
甚ノ御考慮ヲ拂ッテ戴キタイト云フ點ガ、多

多アルノデアリマス、ソレニ付キマシテ今
日臺灣米、朝鮮米ガ日本ノ米價ヲ壓迫シテ
居ルト云フコトダケハ、皆サンノ御話ノ通
リデアリマス、私共ハ此點ニ付キマシテ、
十分ノ統制ヲシテ戴キタイト云フコトニ考
ヘテ居リマスガ、ソレニ付キマシテ伺ッテ見
タイノハ、從來米ノ買上等ハ、常ニ内地米
ダケノ買上デアリマシタガ、昨年ノ臨時議
會カラ農林省ガ奮發シテ、朝鮮或ハ臺灣米
マデモ買フト云フヤウナコトニナリマシタ
ガ、是ハ一進歩トシテ非常ニ歡迎致シマス、
併ナガラ日本ノ米價ガ朝鮮米、臺灣米カラ
壓迫ヲ受ケテ居リマス云フノハ、寧ロ數
量ノ點ト云フヨリモ、數量ハ必要ナ數量ガ
出テ參ッテ居ルト一面ニハ思ヒマスケレド
モ、併ナガラ朝鮮ノ如キハ殊ニ農家ガ貧デ
アリ、サウシテ倉庫ノ設備モナシ、サウシ
テ出來秋ニ之ヲ悉ク賣飛バサナケレバナラ
スト云フ狀況ニアリマス、ダカラ拓務大臣
竝ニ拓務ノ政府委員カラハ、之ニ付テ尙ホ
一層倉庫竝ニ此融資ノ方法ヲ講ズルト云フ
ヤウナコトハ、御話ガアッタノデゴザイマス
カラ、此點ニ付キマシテハ安心ヲ致シマシ
タ、尙ホ一層此點ニ力ヲ附ケテ戴キタイト
云フ風ニ考ヘテ居リマスガ、併ナガラ常ニ
此朝鮮米臺灣米ガ日本ノ米價ヲ壓迫シテ居

リマスト云フノハ、例へば朝鮮米ノ如キ一年ニ七百萬石位參リマス、是ガ何處ニ集中シテ參ルカト言ヘバ大半大阪、京都、東京ト云フヤウナ大都市ニ殺到シテ參リマス、ソレヲ防グニハドウシテモ私共ノ考ニ依リマスレバ、此朝鮮米臺灣米ニ、此米穀買上資金ヲ多額ニ振向ケラレテ、之ヲ買上ゲラレルコトガ、日本ノ内地ノ米ノ壓迫ト云フコトニ付キマシテ、非常ニ效果ガアルト信ズル、ソレヲ少量ニ買上ゲラレテモ、是ハ燒石ニ水デアリマス、成ベク多量ニ買上

同ジヤウニ内地ノ米作ニ壓迫ヲ受クルノデアリマス、ソレデ弾力性アルト謂フノハ、ドウ申シマスノカト言ヘバ、寧ロ浮動性ノアル米作、ソレニ付テハ矢張朝鮮人ノ米作ト云フモノガ、之ニナリマスレバ、景氣ノ好イ時ニハ米ヲ作り、景氣ガ惡クナレバ之ヲ止メルト云フヤウニ浮動性ヲ有ツ、吾々カラ學問的ニ申シマスレバ、弾力性アル米作トシテデアラウト思ヒマス、此點ニ付テドウ云フ風ニ考ヘテ居ラレマス、此二點ヲ伺ッテ置キマス

ナケレバイケナイヤウニ、考ヘテ居リマス、滿洲米ノ問題ニ付キマシテハ、拓務省ノ方ノ方カラ御答ヘ致シマス

○永井國務大臣 滿洲米ノ點ヲ私カラ御答ヲ致シマス、只今池田君モ御話ニナリマシタヤウニ、今日ニ於キマシテハ、滿洲ニ於テ此上ニ米作ヲスルト云フヤウナコトハ、非常ニ危險デアリマス、浮動性ヲ有スル農業ノ方法ガ、一番適切ダラウト云フ御話ガアリマシタガ、大體サウ云フコトガ最モ適當シテ居ルカモ知レヌト思ヒマス、朝鮮人ハ現ニ米、粟ノ生産ヲシテ、自ラノ食糧ヲ自ラ供給シテ居ルノデアリマスガ、御話ノ通りニ、必要ニ應ジテソレヲ増加スル、又事情ニ從ッテソレヲ變更スルト云フヤウナコトモ行ッテ居ルノデアリマスカラ、御話ニナリマシタヤウナ點ハ、將來滿洲ニ於ケル農業ノ經營方針ノ上ニハ、非常ニ參考ニナルト思ヒマス

吾々トシテハ滿洲ニ於テ米作ガ出來マシテモ、滿洲ニ自給ノ範圍、又ハ我國以外ノ所ニ向ケル限度、又ハ我國ニ向ケラレル虞ノナイ限度ニ於テ、當分ノ間ハ米作ノ關係ヲ考ヘテヤラナケレバナラヌト思フノデアリマス、是ハ日滿統制ノ經濟ヲ考ヘマスル場合ニ、當初カラ強ク協調ガ行ハレナケレバナラナイト、吾々ト致シマシテハ注意ヲ怠ラヌ次第デアリマス、恐ラク其點ニ於キマシテハ、拓務省ノ方ニ於テモ御同感ノコト考ヘテ居リマス

ヲサレテ、サウシテ日本ノ米價ノ壓迫ヲ防イデ戴キタイ、此點ニ付テハドウ云フ考ヲ有ッテ居ラレマス、カト云フコトガ、今一ツ伺ッテ見タイノハ、只今滿洲ノ米作問題等ガアリマシタガ、是モ亦將來ノコトヲ考ヘテ見マスレバ、是亦滿洲ノ米作ト云フコトモ、日本ノ食糧ノ自給自足ト云フ點カラ見レバ、看過スベカラザル點モアルト思フ、併ナガラ此點モドウシテモ内地米ノ壓迫ニナリマスカラ、此點ニ付テモ今カラ一ツ十分ノ御研究ヲ願ッテ置キマスガ、併ナガラ此滿洲ノ米作ニ付テハ、私共ハ弾力性アル米作法ヲ講ジナケレバナラス、ソレニ付キマシテハ一番日本ノ内地ノ人ノヤウナ、固定シテシマフヤウナ米作デハ、一面又今日ト

○荷見政府委員 只今ノ朝鮮米ノ季節調節ノ買入數量ガ少量デハ、徹底シテ效果ヲ擧ゲ得ラレナイノデアラウカラ、増額シタラバ如何デアアルカト云フ點ニ付テノ御尋ニ對シテ、一寸御説明ヲ申上ゲマスガ、吾々ノ季節調節ノ必要數量トシテ計算シテ居リマスノハ、朝鮮及臺灣ヲ通ジマシテ、十一月カラ二月マデノ所謂新米出廻時期ニ於ケル過剩數量ニ當ルモノ、即チ百二十萬石程度ヲ限度トシテ、買上ヲ致スコトニ計畫ヲ立ッテ居リマスガ、其資金トシテ増額致サレタノガ、約三千萬圓ノ資金デアリマス、是等ノ資金ノ運用ニ依リマシテ、更ニ效果ヲ擧ゲルコト、思ヒマスガ、將來又必要ガアレバ、ソレニ應ジテ此方ノ方ノ運用資金モ増加シ

○後藤國務大臣 滿洲ノ米ノコトニ付テ、私モ一言此處ヘ附加ヘテ置キタイト思ヒマス、先程拓務大臣カラモ御話ニナリマシタガ、滿洲ニ於ケル今後ノ米ノ増産ガ、ドウナルデアアラウカト云フコトハ、我國ノ米ノ問題トシテハ、今カラ非常ニ心配ヲシテ置カナケレバナラヌ問題デアルト思ヒマス、

○清家委員 久振リニ拓務大臣ニ御眼ニ掛ルノデアリマスガ、少シク質問シテ見タイト思ヒマス、只今農林大臣ガ至極尤モナコトヲ言ハレタ、即チ滿洲ニ於テノ米作ハ、内地ニ影響ノ及バナイト云フ程度、或ハ滿洲ノ人々ガ自ラ用ヒ、若クハ關係ノナイ外國ニ賣拂フ程度ニ留メタイ、コンナニ言ハレタノデスガ、如何ニモ御尤デアリマス、拓務大臣ノ御所管内ノ土地ニ於キマシテ生産スル所ノモノハ、大體方針トシテハ左様ニ御考ヘニナルコトダラウト思ヒマス、即チ經濟統制ヲ彼是レ保ツ爲ニハ、内地ニ出來得ザルモノヲ彼ノ地ニ於テ生産ヲシ、若クハ精製ヲシ、而シテ遂ニハ自給自足ノ地域ニマデ立タウト云フ大方針デナケレバ

ナラス、是ハ別ニ双方共御考達ハアルマイ
ト思フ、御同意デアラウト思ヒマスガ、遺
憾ナガラ是マデノ施設ト云フモノハ、全ク
誤タルモノデアッタ、鮮臺兩總督ニ於キマ
シテモ、否總督ヲシテ斯ル舉ニ出デシメタ
ノハ、内地ノ政府ガ根本ニ於テ誤ッテ居ッ
タ爲デアル、米ヲ日々食ウテ居リナガラ、米
ガ内地ニ幾ラ生産シ得ルカ、又何處マデ生
産シ得ルノ彈力ヲ有ッテ居ルカラ全ク見誤ッ
タ、年々三四百萬石ノ米ガ不足シテ、外國
米ヲ買入レルト云フコトノ爲ニ、食糧不足、
人口過剩論ヲ唱ヘテ、人口食糧ノ調節ト云
フヤウナ、特別ノ會マデ設ケルヤウナ愚ナ
コトヲシタ、是ハ前々カラ私共ハ言ッテ居
ルノデアアル、若シ價格ヲ相當ニ保ッテ作ッ
テ引合フコトニナレバ、人口ガ二倍ニナラウ
トモ、内地米デ賄フコトハ容易ナコトデア
ル、即チ今日ノ米作ヲ二倍タラシメルコト
ハ、農業技術ニ於テハ十分出來得ルノデア
ル、之ヲ見ズシテ、唯年々三、四百萬石足
ラナイコトヲ以テ、米不足論ヲ唱ヘルコト
ハ全ク短見デアアル、何故ナラバ日清戰爭以
後、米ノ輸入ノ數量ヲ調べルナラバ、人口ハ
澤山ニ殖エナガラ、矢張三、四百萬石ノ輸
入デ濟ンデ居ル、是ハ農民ガ價格ノ維持ノ
爲ニ、稍々不足スルヤウニ作ッテ居ッタノデ

アルガ、ソレガ分ラナイデ、飛ンデモナイ
間違ヒニナッテ、朝鮮ノ米作ノ獎勵ニナリ來
タツタモノデアリマス、元來總督府ハ、初ハ
棉ヲ作ラシタ、棉ヲ作レバ内地ニ生産シナ
イカラ、是ハ當然ノ話デアアル、斯クナケレ
バナラス、其ノ至當ノ政策ヲ一變シテ、米
ニ走ッタガ爲ニ、今日ノ苦ミヲ見ナケレバナ
ラスヤウニナッタ、拓務大臣ハ先程モ米作ノ
獎勵ニ付テハ、今年ノ豫算ヲ見デモ分ルト
言ハレタノデアリマスガ、又作物ノ轉換ヲ
シテ非常ニ調節ヲ圖ルト云フコトヲ片言御
洩シニナッタ、一體朝鮮ノ米ト内地ノ米トガ
調節ガ出來ルヤウニ、棉ナラ棉作ヲスルナ
ラバ、餘程大規模ノモノデナクテハナラス
ガ、ドレ位棉ヲ朝鮮ニ作ラシテ、米ノ調節
ヲ圖ラウト御考ニナッテ居ッタカ、御豫定ニ
ナッテ居ッタカ、サウ云フ點モ詳細ニ御述
べ下サレルノガ、拓務大臣ノ當席ニ於ケル
御議論トシテ、一番傾聽スベキ事ト思ッテ
居ルノデアリマス、然ルニ大臣ノ玆ニ出ラ
レナカッタ事ハ、拓務大臣程ノ有名ナ辯者ニ
シテモ、辯ガ足りナカッタノデアラウト思
フノデアリマス、ドウカ一ツ其點ヲ承リタ
イ、尙ホ米作ト棉作ノ相關ノ問題バカリデ
ハアルマイ、他ニモ澤山アルト思フ、是ハ唯
拓務大臣バカリヲ責メタッテ仕方ナイケ

レドモ、餘程「デリケート」ナ問題デアッテ、
臺灣ノ米ハ一石八圓トカデ生産スルトカ云
フ、サウスルト内地ノ二割五分位デ出來ル
ヤウナ譯デアッテ、實ニ安イ、此安ク生産セ
ラレルト云フコトガ、内地米ヲ壓迫スル所
以デアアル、若シ朝鮮米ナリ臺灣米ナリガ内
地米ヨリ高カッタラバ、一粒モ入ッテ來ル
コトハナイ、玆ニ價格ノ上ニ大ニ考慮スベ
キ問題ガ殘ッテ居ル、今朝モ誰ヤラ聽カレタ
ノデアアルガ、鮮米ハ内地米トドレダケノ値
開キガアルカ、マダ調べテ居リマセヌト云
フコトデアアルカラ驚イタ、私ナドハ一石ニ
二圓カ二圓五十錢違フト云フコトヲ知ッテ
居ッタ、此頃ハドウカ知りマセヌクレドモ、
サウ云フ値開キデ數年來來テ居ル、サウ云
フ工合ニ朝鮮ノ優秀ナ旨イ米ガ一割モ二割
モ安ケレバ、朝鮮米ガ入ッテ來ルノハ當リ
前ノコトデアアル、臺灣米ダッテ同様デアリマ
ス、此價格ノ均衡ヲ得サヘスルナラバ、サ
ウ皆ガ多ク心配スル事ハナイ、何カ外國品
デモ排斥スルヤウニ、朝鮮米ヤ臺灣米ヲ呪
フ必要モナイコトニナッテ來ル、一體總督府
ナドデモドウデアリマス、肥料代ナドヤッ
テ生産費ヲ安く上ゲサシタガ、若シ内外一
視同仁ト云フナラバ、内地ノ人間ハ肥料代
モ何モ貰ッタ例ハナイ、同様ニ取扱ッテ、アチ

ラノ米ノ値段ヲ上ゲル工夫ヲスルノガ本當
デハナイカ、此方デ二十圓スルモノガ、朝
鮮米ガ二十圓五十錢スルモノナラバ、誰モ
吊ラレル者ハナイ、五十錢デハドウカ知ラ
ヌガ、二十一圓モシタラ誰モ吊ラレナイ、
此方法ヲ講ジナケレバ仕様ガナイガ、此點
ニ於テハ如何デアアルカ、此二ツヲ聽イテ置
キマセウ、四時マデト云フ委員長トノ約束
モアリマス、カラ、是デイケナカッタ明日
ニ續ケテ聽キマス
○永井國務大臣 清家君ノ御質問ニ御答致
シマス、朝鮮ニ厩大ナ產米計畫ヲ立デマシ
タコトハ、今カラ見マスト、色々非難ノ餘
地モアルヤウニ思ハレマス、其當時ハ實ハ
矢張議會モ先程池田君ガ御話ニナッタヤウ
ニ、マダ食糧缺乏ト云フヤウナコトヲ論ジ
テ居ッタ時デアリマシテ、其當時ダケノ
考デ、ア、云フヤウナ計畫ヲ立ッタデア
ラウト存ジマス、併シ今日ニ於キマシテ
ハ、其計畫ヲ其儘遂行スルコトハ、明カニ
時代ノ要求ニ反スルノデアリマスカラ、先
程申上ゲマシタヤウニ、是ハ失業者ヲ出サ
ザル程度ニ縮小ヲ致シマシテ、サウシテ棉花
ノ栽培ヲ獎勵スルト云フコトニ致シタイト
思ッテ居リマス、此實際ノ計畫ニ付キマシテ
ハ、政府委員カラ詳シク御話ヲ申上ゲルヤウ

ニ致シタイト思ヒマス、ソレカラ第二ニ價格ノ點ハ御話ノ通りデアリマスガ、是ハ先程申上ゲマシタヤウニ、價格ノ調節ヲ考慮スルト云フコトハ、是ハ政府ガ賣出ス時ニ十分考ヘナケレバナラスコトデアラウト思ヒマス、同時ニ日本ノ内地ニ於ケル米ノ生産ト競争セシムルコトノナイ方法デ、有ユル手段計畫ハ勿論ノコト、其他ノ點ニ於テモ十分研究スル必要ガアルト考ヘテ居リマス

○清家委員 只今ノ價格ノ點ガ徹底シテ居ラスヤウデアリマス、朝鮮米ヤ臺灣米ニ剩リガアレバ、其剩リヲ皆ナ政府ガ買ヘバ宜イデハナイカ、サウシテ内地米以上ニ賣レレバ、問題ハ解決スルノデアアル、亂暴ノ議論ヲスルヤウデアルケレドモ、ソコヘ行カナケレバ鮮臺米ノ解決ハ出来ナイ、此點ニ付テノ御考ハドウカ、若クハ又ドウ云フエ合ニシテ、方策ヲ講ゼラレルカ、私共ハ常ニ此事ヲ思フガ故ニ聽クノデアリマス

○松山委員 朝鮮米ノ事ガ大分問題ニナッテ居リマスノデ、此事ニ付テ少シク私ノ知ッテ居ル所ヲ述ベテ、當局ノ御意見ヲ承リタイト思フノデアリマス

○東委員長 松山君今日ハ色々差支ノアル人ガアルノデ、四時マデト云フコトデアリ

マスカラ、延ビレバ此次ニ十分質問サレルヤウニ願ヒタイト思ヒマス

○松山委員 此委員會ニ於テ諸君ガ朝鮮米ニ付テノ事實ヲ認識スル上ニ、少シク考慮ヒラシテ居ル點ガアルノデハナイカト私ハ思フノデゴザイマス、朝鮮ニ於ケル農業上ノ鐵則ト致シマシテ、作ッタ米ハ地主ト小作人トガ半分ヅ、ニ分ケルト云フコトニナッテ居リマス、然ラバ朝鮮米ノ生産費ガ安クシテ、サウシテソレガ高ク買ハレルト云フコトデアルナラバ、朝鮮ノ農民ハ裕カニ暮シテ居ルカト斯ウ申シマス、先ヅ朝鮮ニ於ケル小作人ノ方面ニ付テ申シテ見マスルト、朝鮮人ノ間ニ於キマシテハ、漸ク作ッタ米ヲ暫クノ間ニ皆ナ取ラレテシマッテ、ソレガ爲ニ小作人ガ食ヘナイ、ソレデ小麦カ何カラ作ッテ、マダ刈取ラヌ前ノ青イ物ヲ取ッテ來テ、ソレヲ食フ、或ハ冬食フ物が無クシテ、子供ガ學校ヘ行ケナイト云フヤウナコトガ、朝鮮ニ於ケル實例デアリマシテ、決シテ朝鮮ノ小作人ガ米價ガ高ク買ハレルガ爲ニ、裕カニ暮シテ居ルト云フコトデアリマセヌ、ソレニ付テハ一ツハ内地ト違ヒマシテ、農業ヲヤルコト以外ニ副業ノ收入ト云フモノガナイ、モウ一ツハ非常ナ貧窮ニ乗ジテ、高利貸ガ活躍致シマス、秋

收穫ノアツタ時ニ、高利貸ニ殆ドソレヲ捲上ゲラレテシマウ、斯ウ云フ状態デアリマス、是ハ他ノ方面カラモ總督府ガ政治ヲヤル上ニ於テ、特ニ注意ヲ要スル點デアルト思フノデアリマス、然ラバ地主ハ非常ニ裕デアルカト申シマス、朝鮮人側ノ地主ハ、併合後餘程裕カニナッタラウト思ヒマス、殊ニ役人ノ暴力ニ依ッテソレヲ誅求セラレルト云フコトガ無クナリマシタカラ、確ニ安心スルヤウニナッテ、其點ニ於テハ生活ガ裕カニナッタコト、思ヒマスケレドモ、日本人デ朝鮮ヘ行ッテ農業ヲヤッテ居ル者ノ中デモ、只朝鮮ヘ行ッテ良イ土地ヲ買ウテ、別ニ何等仕事モシナイデ、小作料ダケヲ集メテ居ル人ニハ、相當產ヲ成シテ居ル人ガアリマスケレドモ、朝鮮總督府ガ產米増殖ノ計畫ヲ立テラレテ、ソレニ順應シテ色々土地改良ノ計畫ヲ立テタ者ハ、皆今日窮シテ居リマス、恐ラク是ハ少シク御調ベニナッタラ分ルト思ヒマス、私共ノ知ッテ居ル範圍内デハ、殆ド之ニ金ヲ貸シテ居リマス、大體今日ハ朝鮮殖産銀行デアリマスガ、此殖産銀行ニ捲上ゲラレツ、皆困ッテ居リマス、決シテ米ノ値段ガ好イ爲ニ、好イ利潤ニ廻ハシテ居ルト云フコトデアリマセヌ、此朝鮮米ノ生産費ト云フコトニ付

テ、最前カラ喧シク言ハレテ居リマシテ、ソレニ對シテ當局ハ、マダ其生産費ヲ調査シタモノガナイト云フコトデアリマスガ、恐ラク此生産費ヲ調べテ見タナラバ、意外ナ結果ガ出テ來ルノデハナイカト思ヒマスノハ、租稅ガ輕イトカ勞働賃銀ガ安イト云フ以外ニ、生産ノ量ヲ考ヘナケレバナリマセヌ、日本内地ニ於テハ一反歩平均大體玄米ガ二石ニナッテ居リマスガ、朝鮮ニ於テハ一反歩ノ收穫量ガ大體一石デアリマス、ソレデアルカラ、朝鮮米ノ生産費ト云フモノハ、調べテ見ルト存外ナ結果ガ出テ來ルノデハナイカト、私ハ思フノデアリマス、ソレヨリモ私共ハ目ヲ轉ジテ考ヘナケレバナラス點ハ、朝鮮米ガ日本内地ニ買ハレル價格ノ問題デアリマス、是ニ付テ今清家君ガ偶、此機微ナ點ニ觸レタノデアリマスガ、其一例ヲ申シマス、灘トカ——灘ノミニ限リマセヌガ、酒屋ニ朝鮮米ヲ持ッテ行ッテ賣ラウトシテモ、朝鮮米ハ買ハナイ、ソレハドウ云フ譯カト云フト、ア、云フ酒屋ハ播州ノ米ト云フヤウナ良イ米ヲ以テ、酒ヲ造ルト云フコトガ誇リデアリマス、故ニ同ジ米質ノ朝鮮米デアッテモ、朝鮮米ヲ以テ酒ヲ造ルト言ハル、コトガ、酒ノ聲價ヲ墜スト思フ故ニ、表面ソレヲ買ハナイ、ソレデア

ルカラ此朝鮮米ガ一石ニ付テ二圓三圓ト安ク他ノ商人ニ買ハレテ、ソレガ依装ヲ變ヘテ日本米トナツテ、酒屋ノ倉ヘ這入ルノデアリマス、或ハ又大阪ノ商人ナドガ、朝鮮米デアルガ故ニ二圓三圓安ク買ウ、サウシテソレヲ内地米トシテ賣テ、利益ヲ收メテ居ル、斯ウ云フ實情デアリマス、故ニ朝鮮米ガ日本米ノ米價ヲ壓迫スルモノトスレバ、是ハ實際ノ價值以下ニ朝鮮米ヲ買フト云フ所ニ、朝鮮米ガ日本米ヲ壓迫シテ居ルト云フ事實ガアルノデアリマス、其一ツハ朝鮮ニ於ケル人々ガ、朝鮮米ハ生産費ガ安イト云フ聲ヲ向フデ聞カサレルコト、又經濟的ノ觀念ガ十分デナイト云フコトカラ、總督府ノ役人ハサウ云フ聲ガアル爲ニ、何トナク遠慮シテ賣ラナケレバナラヌヤウニ安ク賣ルカラ、ソレデ日本内地ノ米價ヲ壓迫スルト云フ結果ニナル、ソレデ清家君ノ言ハレタヤウニ、總督府ニ於テ特ニ此點ニ注意シテ、朝鮮米ヲ安ク買ハレナイヤウニシナケレバナラヌト思フ、サウシテ其結果地主ナリ一般ノ所得ヲ、ソレニ依ッテ増スヤウニナツタラ、増稅ヲシタラドウデス、朝鮮總督府ニハ幾多ノ爲サネバナラヌ施設ガアルガ、金ガ足ラヌカラヤレナイ、或ハ日本内地ニ補給金トシテ來ルト云フコトデ、内地ノ財

政ヲ壓迫シテ居ルト云フ朝鮮米ヲ、安ク這入ラナイヤウニシテ、サウシテ出來ルダケソレデ所得ガ増スナラバ、ソレデ増稅シタラドウデアリマス、私ハ此點ニ特ニ注意シナケレバナラヌモノト思ヒマス、次ニ今度ハ數量ノ事ニ付キマシテ、是ハ今度ノ統制計畫ニ付テ特ニ注意シテ居ラレル點ダト思ヒマス、數量ノ調節ヲスルコト、是ハドウシテモ朝鮮ト日本トヲ區別スル必要ハナイガ、彼處ニハ朝鮮海峽ト云フ境ガアルカラ、或ハ臺灣トハ海ガアルノダカラ、之ヲ區別シテ調節スルト云フコトガ、洵ニ賢イ方法ダト思ヒマス、併シ調節ヲシテ唯朝鮮ニソレヲ溜メテ置イテ、何時カ日本ニ這入ッテ來ルノデハ、日本ノ米ヲ壓迫スル虞レガアリマスカラ、ドウシテモ是ノ餘ル時ニハ之ヲ賣ルコトヲ考ヘナケレバナラヌ、恐ラク是ハ日本内地ニ於ケル米モ其通り、朝鮮ニ於ケル米モ其通り、臺灣ニ於ケル米モ其通りデアルト思ヒマス、所ガ米ノ商賣ト云フ事ハ、中々素人ノ商法デハイカヌ、役人ガ一寸行ッテ本當ニ巧ク商賣ノ出來ルモノデヤナイ、ドウシテモ外國ニ對シ米ヲ賣ルニハ「エキスポート」ヲ設ケテ置ク必要ガアル、之ニ熟練シタ人ヲ置イテ置カナケレバイカヌト思ヒマス、斯ウ云フ點ヲ考ヘマ

シテ、私ハ米穀統制法ヲ作ル此機會ニ於テ、内地ノ延長主義ヲ以テ朝鮮モ、臺灣モ同ジ一ツノ法律ノ下ニ之ヲ統制セラレルト云フ、詰リ農林省ニ於テ全體ヲ統轄スルト云フ方法ヲ執ルガ、賢イ方法デハナイカ、餘ルナラバ日本ヘ持ッテ來ナイデ、朝鮮カラ直グ外國ヘ賣ル、斯ウ云フ風ニスルコトガ、賢イ方法デハナイカ、斯様ニ私ハ考ヘルノデアリマスガ、此事ニ對スル拓務大臣ノ御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○永井國務大臣 只今御話ノ點ハ無論朝鮮米又ハ臺灣米ノ買上、ソレカラ賣出ト云フコトニ關スル點ガ主要デアッタト思ヒマス、此調節ニ付キマシテハ、先程清家君モ御話ニナリ、又只今松山君モ御話ニナリマシタヤウニ、價格ノ點ニ付キマシテモ、十分考慮シナケレバナリマセヌガ、同時ニ矢張數量ノ點ニ於キマシテモ、十分調節ヲ考ヘル必要ガアルト思フテ居リマス、又地主ニ對スル増稅云々ト云フ御話ガアリマシタガ、是ハ松山君ノ御意見トシテ承リマシテ、十分研究シテ見タイト思ヒマス、尙ホ朝鮮米ノ買上價格其他ノ點ニ付キマシテハ、農林省ノ政府委員カラ御答申上ゲルコトニ致シマス

○東委員長 此場合朝鮮ニ於ケル米價調節

及棉花栽培ノ事ニ付テ、政府委員カラ御話ガアルサウデアリマス

○林政府委員 朝鮮ノ棉ノ事デアリマスガ、朝鮮ニハ御承知ノ通り古カラ棉ヲ栽培シテ居リマシタ關係上、大正元年初メテ第一期棉ノ増產計畫ヲ立テマシテ、續イテ大正八年ニ更ニ第二期棉ノ増產計畫ヲ立テマシテ、爾來其計畫ニ基イテ事業ヲ施行シテ參リマシタガ、最近朝鮮ニ於ケル農村ノ實情ニ鑑ミマシテ、更ニ明年度カラ十箇年ヲ期シマシテ、實棉ノ產額三億斤ヲ得ル爲メ、面積二十五萬町歩ニ棉ヲ栽培シタイ計畫デアリマシテ、之ヲ十箇年間ヤッテ見テ、其結果ニ依リマシテ更ニ引續キマシテ、此倍額即チ五十萬町歩、產額六億斤ヲ得ル計畫ヲ有ッテ居リマス、先ヅ差當リ明年度ニ於キマシテハ、是ガ爲メ二十二萬圓ノ經費ノ増加ヲ御願ヒシテ居ル次第デアリマス

○松山委員 私ノ質問ハ保留シテ置キマス

○東委員長 本日ハ是ニテ散會致シマシテ、明日ハ休會、明後日ハ午後一時ヨリ開會致シマス

午後四時十分散會

昭和八年二月二十二日印刷

昭和八年二月二十三日發行

衆議院事務局

印刷者 民友社印刷所